

4. 医療・看護安全対策の推進に関する事項

4-1 第7回 医療安全大会の開催

1. 目的：県民に安全・安心な医療・看護の提供するため、医療安全推進週間に関する行事の一環として開催している「医療安全大会」を通して、医療従事者への医療安全の普及啓発を図る。

2. テーマ：「チームでとりくむ医療安全」

3. 日時：平成23年11月6日（日） 10：30～16：00

4. 会場：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>

5. 参加人数：500名

6. 内容：

1) 標語の表彰式

優秀賞 「安全は基本を守る職場から」 東邦大学医療センター佐倉病院 諸橋 幸枝

佳作 「声出そう エラーを防ぐ チームの輪」

(社医) 木下会 千葉西総合病院 4階西病棟 1年目 7人

「安全は まず身の周りの整理から」 (医社) 創進会 みつわ台総合病院 西3病棟

※優秀賞の標語は、ポスターとして作成し1年間、医療機関等に配布し掲示

標語の応募数 288件

2) 特別講演

「低リスク医療システムの実現へ向けて

～不注意を責める前に私たちにはできることがある～」

講師：自治医科大学医学部メディカルシミュレーションセンターセンター長

医療安全学教授 河野龍太郎

座長：(社) 千葉県看護協会医療安全担当理事

齊藤セツ子

3) シンポジウム

「他職種連携で防げるヒューマンエラー」

座長：自治医科大学医学部メディカルシミュレーションセンターセンター長

医療安全学教授 河野龍太郎

シンポジスト：医師：(社) 日本病院会千葉県支部

(医) 鉄蕉会 亀田総合病院 医療安全管理室室長

夏目 隆史

薬剤師：千葉県病院薬剤師会

(社医) 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院

医療安全管理者

小峰 千鶴

看護師：(社) 千葉県看護協会

(独法) 労働者健康福祉機構 千葉労災病院

医療安全管理者

高澤 弘美

放射線技師：(社) 千葉県放射線技師会

(医) カンクロ カンクロクリニック

医療安全管理者

森 信二

4) 最新医療機器等の展示・情報提供コーナー (16社)

出展企業：テルモ (株)、(株) テクノスジャパン、(株) 共和、日本コヴィディエン (株)、泉工医科工業 (株)、ワタキューセイモア (株)、ミドリ安全 (株)、パラマウントベッド (株)、日本光電東関東 (株)、スター・プロダクト (株)、(株) ジェイ・エム・エス、(株) 竹虎、東レ・メディカル (株)、ニプロ (株)、フクダ電子南関東販売 (株)、日本ベクトン・ディッキンソン (株)

7. まとめ

特別講演においては、講師の河野氏より「人は誰でも間違える」「医療安全をシステムで考えること」と強調した講演から、改めて医療安全を見直すきっかけとなり、参考になったとの声が聞かれた。

シンポジウムでは、医師等専門職がその専門性を活かして各医療機関において実践している医療安全の取り組みが報告された。

また、他職種の参加が少ないこともあり、活発なディスカッションに至らなかったため、意見交換ができる企画・運営の検討が必要である。

最新医療機器等の展示・情報提供コーナーでは、日頃使用している機器の最新情報や安全な使用方法等、直接企業からの説明を受け、実際見て触ることができ、安全な機器取扱等への意識づけになった。

さらに、県内に安全安心な医療看護を提供するためには、今後は他職種参加の協働による医療安全大会を目指すために県への協力を要請したい。

4-2 医療安全担当者の交流会の開催

1. 目的：安全で安心な医療看護を提供するために、研修や医療安全担当者間の情報交換を通し、現場に即した実践力をより高める。
2. 日時：1回目 平成23年10月18日（火） 9：30～15：30
2回目 平成24年1月27日（金） 10：00～16：00
3. 参加人数：1回目 73名 2回目 52名
4. 会場：千葉県看護会館 大研修室 中研修室
5. 内容：1回目

○講演

- ①「医療安全施策の動向と医療安全支援センターに寄せられた相談・苦情から患者の声を聴く」
千葉県健康福祉部 医療整備課 管理指導室 副主幹 一松 明美
- ②「法による医療のリスクマネジメント」～危機管理における対応について～
千葉県看護協会顧問弁護士として、相談事例や今後の活動計画
松本・山下法律事務所 弁護士 山下洋一郎

○グループワーク

内容：健康保険鳴門病院誤投薬事故調査委員会にて公表された調査報告書より抜粋した事例を共通事例として使用し、医療安全担当者として捉えていく視点を検討した。

ファシリテーター：医療安全推進委員7名、看護協会理事 齊藤セツ子
佐瀬けい子

講師：元日本看護協会事業開発部 チーフマネージャー野村病院 看護部長 佐々木久美子

2回目

○グループワーク及び発表

内容：1回目終了後、各自の医療安全担当者としての課題を挙げ、各自取り組んだ課題と経過を発表し、共通の課題についてまとめ、討議した。

ファシリテーター：医療安全推進委員7名、看護協会理事 齊藤セツ子
佐瀬けい子

○講義

内容：行政処分についてや医療安全管理職として大枠から物事を見ることの必要性、グループ発表にて共通課題に挙がっていたインシデントレポートについて視点や進め方を講義いただいた。

講師：元日本看護協会事業開発部 チーフマネージャー野村病院 看護部長 佐々木久美子

6. まとめ

交流会は同メンバーで2回行った事で、参加者からは交流が深まったとの声が聞かれた。各自の課題の実践事例についてのグループワークでは、日常知る事のない他施設の取り組みについて聞く事が出来参考になったとの評価であった。講演内容は、行政の取り組み、医療訴訟の判例等、今後の取り組みに活用できるとの声であり、実践に即した交流会を行う事が出来た。

5. 災害救護対策に関する事項

5-1 災害に備えた支援体制の整備

(1) 災害支援ナースの派遣

①目的

災害支援ナースは、被災者が健康レベルを維持できるように、適切な医療・看護を提供することと、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるように努める。

②派遣状況

3月11日の東日本大震災においては、発生直後に看護協会長を本部長として「千葉県看護協会災害対策本部」を設置した。第一段階は会員施設に被災状況の収集を行い、各施設において大きな被災状況の報告はなかった。第2段階として、災害支援ナースの登録を開始し、215名が応じた。

県内地の被災に関しては、千葉県との「災害時の医療救護活動に関する協定」に基づき派遣を行い、東北の被災地に対しては、日本看護協会との災害支援ネットワークに基づき派遣を行った。

東日本大震災における災害支援ナースの派遣合計：53名（3/24～5/13：28班）

千葉県との協定に基づいた派遣（旭市） 18名（3/24～4/14：7班）

日本看護協会からの要請による派遣

第一段階(岩手県・宮城県・福島県) 27名（3/31～4/30：17班）

(内訳) ・岩手県 5名（3/31～4/8：2班）

・宮城県 15名（4/4～4/30：10班）

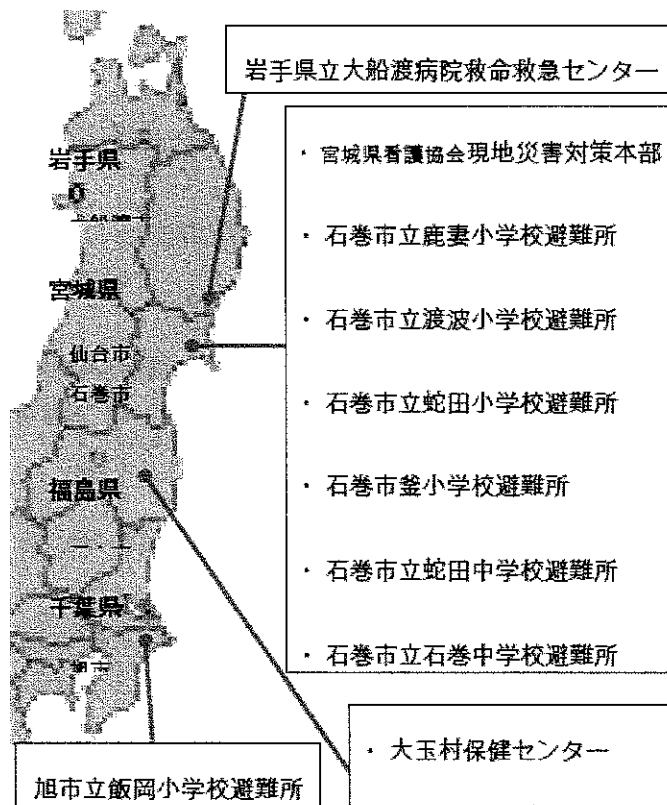
・福島県 7名（4/10～4/27：5班）

第二段階(福島県) 8名（5/1～5/13：4班）

災害支援ナース派遣数 旭市派遣 5名 岩手派遣 5名 宮城派遣 15名 福島派遣 13名 (合計 53名)

派遣先	3月							4月							5月																																				
	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
旭市																																																			
岩手県																																																			
宮城県																																																			
福島県																																																			

派遣先一覧



※岩手県、宮城県、福島県への派遣は日本看護協会を通しての派遣。

※千葉県旭市への派遣は、千葉県との「災害時の医療救護活動に関する協定」に基づく派遣。

(2) 災害支援ナースの報告会

1. 目的

東日本大震災の災害支援ナースの活動実践を通して、災害支援ナースの活動のあり方等について意見交換を行う。

2. 日時

平成23年8月17日(水) 15:30～17:30

3. 場所

千葉市生涯学習センター

4. 参加者

東日本大震災に派遣された災害支援ナース 29名

5. 内容

1) 報告「災害支援ナース活動報告書のまとめ」

①活動内容

②意見と課題

2) クループ討議 (5グループ)

討議内容

災害支援ナースの報告書では伝えきれなかった想いや体験をグループ内で自由に話し合い、今回の体験を振り返りつつ、今後へつなげられること、看護協会への要望等を自由にディスカッションした。

3) グループ発表

<主な意見・課題>

- ・派遣時期や場所で支援の仕方が違うことを皆で共感した。
- ・情報が少なく、自分が何の荷物を持って行くのがよいかわからなかったり、逆に持っていくすぎたりした。また、荷物を置いていこうと思っても、撤退時は撤退する方の責任で荷物を持って帰らなければならないので、どの時期に派遣されても撤退時のことを考えて荷物をもっていった方がよい。
- ・派遣する場合は、簡単でもよいので研修を受けていったほうがよい。
- ・支援ナースはメンタル面でも自己完結しなければいけないが、自分の気持をどう処理していくべきか、話合ったが結論は出なかった。

<看護協会への要望>

- ・3泊4日という短期間の活動であったが、その後の支援の経過をフィードバックしてもらえるとやりがいにつながる。
- ・時期によって求められるものが違うので、得意分野・専門分野によって派遣するタイミングを調整してほしい。難しいとは思いますが、それが活かされるとやりがいにつながると思う。
- ・準備してもらった物品のうち、その時期に何をもっていったら良いかの情報があれば助かったと思う。特に水がかなり重く、エレベーターがない中で運ぶのは重労働だった。水は日本看護協会でも準備いただき、バスに積んで現地で配布してもらえたら尚良かった。

6 まとめ

- 1 報告会の開催時期が8月であったが、派遣された支援ナースのメンタル面のフォローが適切に図られたのか、今後支援体制の一環として検討していく。
- 2 今回、派遣された災害支援ナースは、協会で行う災害看護の研修受講生は数名であった。災害支援ナースの登録条件と災害看護の研修受講について明確にしていらないが、突然の災害時に派遣する体制が災害支援ナースであり、今後、登録と研修について検討していく必要がある。
- 3 派遣時の必要物品は、初期の活動から最後まで同じものを準備した。千葉県が担当する場所が事前に日本看護協会から指定されると情報も得やすく適切な物品の準備となるため、今後に備えて要望した。
- 4 派遣先までの移動に対しては、各自の責任による移動ではなく、日本看護協会が責任を持ち、送迎してほしいと当協会からも強い要望を出し、バスでの移動が実現した。

5-2 地域における高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業

1. 目的

東日本大震災により被害を受けた地域において、援護を必要とする高齢者等の支援に当たる者の活動を支援するため、地域における高齢者等見守り支援アドバイザーを設置する。

2. 実施内容

1) 見守り支援アドバイザー活動

被害にあった地域の高齢者等に生活支援をアドバイザー等からの相談に応じるとともに、必要な助言・指導を行う。

(1) 見守り支援アドバイザー活動件数

- | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|----|-----|
| ・支援者への支援 | 80件 | 香取市 | 12件 | 旭市 | 68件 |
| ・住民個人への支援 | 48件 | 香取市 | 46件 | 旭市 | 2件 |
| ・同行訪問 | 21件 | 香取市 | 20件 | 旭市 | 1件 |

(2) 事例検討会

被災により何らかの影響を受けた保健福祉職がその体験を語り、活動を振り返ることで今後の支援に何が必要となるかを考える場とする。

- (a) 月 日：平成24年1月27日(金) 15:30～17:00
- (b) 会 場：旭市保健センター
- (c) テーマ：「今までの活動を通じた現状と課題」
- (d) 対象者：旭市の保健師、ロザリオの聖母会生活支援アドバイザー等
- (e) 助言者：千葉大学大学院看護学研究科地域看護学教育研究分野 教授 宮崎美砂子氏
- (f) 参加者：15名
- (g) 内 容：座談会形式で①被災直後の気持ち、②これまでの活動で課題と感じたこと、
今後の活動に必要なこと等と話合い、助言者から助言をもらう。
- (h) 助言内容：被災1～2日目は情報が入らない中で指示を待つのではなく、自身で判断して行動することが求められる。市の職員としては、対策本部に現場職員の声をどのように上げていけるかの仕組みづくりが必要になる。

2) 研修会の開催

当該事業に関する専門職等や地域の住民を対象に必要な研修を行う。

- (1) 月 日：平成24年3月16日(金) 14:00～16:15
- (2) 会 場：旭中央病院 しおさいホール
- (3) テーマ：「災害時における支援者の役割について」～円滑な支援活動を行うための地域との連携のあり方とは～
- (4) 対象者：看護職、福祉職、事務職等
- (5) 講 師：NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長
日本災害看護学会理事 黒田 裕子氏
- (6) 参加者：112名
- (7) アンケート結果

85名（保健師11名、看護師63名、助産師2名、福祉職8名、事務1名） 回収率79.4%

《保健師》

- ・避難所での活動、仮設住宅入居者の支援活動を通し自分に何が出来るか考えた。
寄り添うことの難しさを感じたがその必要性についても感じた。
- ・今を大切に作る気持ちが強くなり被災体験の失敗を繰り返さないために日々、考え取り組もうという気持ちになった。
- ・災害に対する日々の備え、ケース支援について台帳の作成をしているが平常時のシミュレーションの大切さを感じている。

《看護師》

- ・地震で物が落下しないか、不必要なものが置いてないか習慣づけるようになった。
- ・仕事に災害が起きたら何が出来るか考えるようになった。アクションカード作成中。
- ・環境整備等、災害を前提として対応するようになった。薬の予備、薬手帳の活用。

《福祉職》

- ・節電、節水に気をを使うようになった。非常袋を用意した。
- ・個人情報保護の問題があるが、震災や今後の見守り対応について考えさせられた。
- ・話合いの時などには独居の方の場合、緊急連絡先を必ず確認する。

(8) その他

千葉県看護協会の旭市での災害支援活動を知っていただくため、研修会場に旭市の被災状況、災害支援ナースの旭市での活動、実態調査についてのポスター掲示をした。

3) 実態調査

津波被害が大きかった地域を重点的に、被災者の声を聞き取り、潜在的な健康問題やその後の経過に伴い変化していく被災者のニーズを把握し、ニーズに沿った必要な支援を効果的に実施することを目的に、被災者の健康や生活（安全）状況を訪問により調査を行う。

(1) 月 日：平成24年3月3日(土) 9:00～17:00 3月4日(日) 9:00～16:00

(2) 場 所：旭市飯岡・行内・平松・横根・萩園（旧飯岡町）の一部地域

【本部】飯岡保健センター

(3) 参加者：2日間延べ118名

(4) 調査方法：

- ・津波被害が大きかった旭市飯岡・行内・平松・横根・萩園（旧飯岡町）の一部地域918世帯を対象に聞き取り調査を実施
- ・対象地区を23地区に分割し、グループ毎に決められた地域を調査(調査員の1グループ編成は、3人程度)
- ・「健康・生活調査票」を全世帯の全構成員記入し、健康・生活上の相談があり援助資源に繋がってないため支援が必要と判断された場合は「健康・生活相談票」を1人1枚記入

(5) 調査結果：対象世帯918のうち、655世帯(71.4%)から聞き取り調査完了

「健康・生活相談票」から緊急対応が必要となったもの10件については、旭市健康管理課に対応依頼の連絡

4) 高齢者等見守り支援アドバイザー設置事業委員会の設置

当該事業に係る企画評価を行うために委員会を設置する。

(1) 月 日：平成24年1月27日(金) 14:00～15:30

(2) 会 場：旭市保健センター

(3) 出席者：委員9名、オブザーバー2名、事務局4名

(4) 検討内容：

1. 地域における高齢者等見守り支援アドバイザー活動について
2. 研修会について
3. 旭市の健康・生活実態調査の実施について

3. まとめ

仮設住宅入居者に対しては、生活支援アドバイザーが生活環境面での支援を行い、見守り支援アドバイザーが入居者への健康面での支援と、支援者への助言を行ってきた。

被災の約1年後に実施した実態調査では、看護師等専門職が家庭訪問を行い直接、地域の住民の方々に接し、聞き取りを行ったことで、生活復興のため二の次になっていた健康面を住民が振り返る機会になった。また、緊急対応の必要な方等に対して早期に保健医療福祉サービスの提供に繋がれ継続した支援をすることができた。

来年度は、生活支援アドバイザーと見守り支援アドバイザーが情報を共有し、連携をより密にして、細やかな支援ができるよう努める。

被災地では、いまだ多くの健康面での課題をかかえており、行政をまじえたフォロー体制の構築につなげていくよう努めたい。

6. 訪問看護の推進に関する事項

6-1 訪問看護推進事業

1 訪問看護の実態等に関する調査

(1)調査目的：病院と訪問看護ステーションの連携の現状を把握し、今後円滑な訪問看護サービスの導入を図ることを目的に調査を実施する。

(2)調査対象：県内訪問看護ステーションの管理者 204施設
 県内病院の看護管理者又は退院調整担当者 283施設

(3)調査期間：平成24年12月8日～平成25年12月20日

(4)調査項目：①訪問看護ステーション 設置主体、職員数、利用者数、連携に困っていること、連携のための教育等
 ②病院 設置主体、病床数、退院調整部門の設置状況、困っていること、連携のための教育等

2 調査結果

① 回収状況

	訪問看護ステーション	病 院
回収数	133	157
回収率	64.7%	55.1%
有効回収数	132	156

② 訪問看護ステーションの状況

- ・常勤の看護職員数は1事業所の平均が3.6名であり、3名以下の事業所が6割である。一方、73.5% (97事業所) が非常勤の配置をしている。
- ・平成23年11月分の利用者の保険区分は、介護保険が73.4%、医療保険が26.3%であり、1事業所の1ヵ月平均利用者数は介護保険が56.6名、医療保険が20.3名である。
- ・訪問看護ステーションが連携推進のために直接的に実施している業務の割合は、「在宅移行支援のための合同カンファレンス」92.3%、(120事業所)で最も高く、「緊急時の入院等対応について協議」、「退院前訪問の実施」、「退院当日の訪問看護」の3項目が6割以上である。
- ・在宅移行期の連携で困っていると回答した訪問看護ステーションは、93.9% (124事業所) である。困っている内容は、「必要な対象者に訪問看護の紹介がされない」60.5% (75事業所) で最も多く、「退院後に急に訪問看護が導入される」56.5% (70事業所)、「患者家族に訪問看護活用法の説明がない」55.6% (69事業所)、「退院調整時に訪問看護に関わりを求める連絡がない」「退院時合同カンファレンスの時期・場所等の調整が難しい」が約5割である。

③ 病院の状況

- ・病院においては、退院調整部門がある施設は47.4% (74施設) であり、そのうち退院支援ナースが在籍するのは、41.9% (31施設) である。
- ・訪問看護導入の基準があると回答した病院は、24.4% (38施設) であり、その基準内容は、「医療の必要性」が92.1% (35病院) で最も高く、「介護の必要性」・「独居等家族構成」が68.4% (26病院)、「入退院を繰り返す」60.5% (23病院)、「終末期」が57.9% (22病院)、「高齢者等年齢」・「認知症」が50.5% (19病院) で、様々な要因・状況により訪問看護が導入されている。
- ・退院調整担当者の実施している業務のうち、体制づくりは69.2% (108病院) が実施している。退院支援ナースが配置されている病院では、「患者・家族との関係調整」86.5% (27病院) で最も高く、10業務で6割を超えている。
- ・訪問看護ステーションとの連携で困っている病院は、48.7% (76施設) であり、退院調整部門がある

病院の57.9% (44病院)、退院支援ナースの配置がある病院の50.0% (22病院) が困っていることがあると回答している。困っている内容は、「訪問看護の費用等が分かりづらい」36.8% (28病院) で最も高く、「24時間対応の訪問看護ステーションが見つからない」が32.9% (25病院)、「訪問看護との連携による退院調整のフィードバックがとれない」31.6% (24病院)、「再入院時、在宅での情報が無い」30.3% (23病院) 等である。

④ 調査結果のまとめ

- ・常勤の看護職員数が3名以下の小規模の訪問看護ステーションは約6割であり、併設の事業所ももたず約3割が単独の訪問看護ステーションで事業を展開している。また事務職員の在籍している小規模の訪問看護ステーションは約3割であり看護職員が周辺事務を担っている状況が考えられる。
 - ・訪問看護ステーションが連携推進の為に実施している業務は、「在宅移行に向けたカンファレンス、緊急時の入院等対応の協議」等病院との直接的な業務であり、であり7～9割の高い実施率である。
 - ・訪問看護導入の基準を持っている病院は僅か2割であるが、その内容は、「医療・介護の必要性、独居、終末期、認知症」等多様であり、今後急速な高齢化の進展や病院の在院日数の短縮化が加速する中さらに訪問看護の需要が増大する事が予測される。しかし、退院調整部門が設置されている病院は約4割と少ない。
 - ・退院調整部門に配置されている退院支援ナースは約4割と少ない状況であるが、退院支援ナースが実施している業務は、患者・家族をはじめ訪問看護ステーション等関係機関への退院調整業務と合わせて、院内の体制作りの業務についても積極的に取り組んでおり、今後在宅療養への移行を円滑に実施する為には、退院支援ナースの配置が必要である。
 - ・連携において困っている事がある病院は約5割であり、受け手である訪問看護ステーションは約9割と高い状況にある。訪問看護ステーションの困っている内容は、「必要な患者に訪問看護が紹介されない、訪問看護の活用方法を説明出来ない、退院後急に訪問看護が導入される」等が約6割である。また病院が困っている内容は、「訪問看護の費用がわかりづらい、24時間対応の訪問看護ステーションが見つからない」等制度や社会資源の情報が約3～4割である。
- 病院において患者・家族に訪問看護に関する説明が十分でない状況や訪問看護ステーションが病院に対して自己PR等が十分に出来ていない状況が考えられる。

2 訪問看護に関する研修会

訪問看護師の資質向上及び、着々連携強化のため、「退院調整看護師研修」「訪問看護師養成研修」を行った。

名称	1 退院支援研修会 (医療機関の看護師の研修)	2 訪問看護師養成研修 (訪問看護ステップ1)
対象	病院病棟・外来・在宅支援室 退院支援看護師等	保健師・助産師・看護師・准看護師の有資格者で(社)千葉県看護協会会員で、これから訪問看護を始めようとする者、または訪問看護に従事している者
目的	退院支援調整に関する基本的知識を理解し、在宅移行時の社会資源の活用について理解する。	質の高い訪問看護サービスの提供に向けて、訪問看護活動に必要な知識と技術を修得する。
期間	4日	183時間 (8/1～H24、2/24)
内容	①講義 3日 (7/23、7/30、9/15) (退院支援に必要な制度と社会資源の活用方法、退院調整カンファレンスの仕方など) ②訪問看護ステーションへの実習 1日8月中	①eラーニング (インターネット利用) 165時間 ②演習 6時間 ③実習 12時間
参加人数	76名	15名(修了者12名)

3 地域連携フォーラム

目的：安心して在宅で最期まで過ごせる地域づくりを目指して、在宅ターミナルケアの推進・普及を図るために、医師や看護師など在宅療養に関わる専門職による連携のあり方について考える。

実施日：平成23年12月3日(土)

参加者：病院看護師・訪問看護師・介護支援専門員

参加人数：204名

内容：

【講演】 テーマ：「平成24年度医療保険・介護保険制度改正と報酬改定の方向」

公益社団法人日本看護協会 政策企画部政策室調査研究係 堀川 尚子

【シンポジウム】 テーマ：「在宅移行期における円滑な他職種連携」

<座長> 順天堂大学医療看護学部 大学院医療看護研究科先任准教授 樋口キエ子

<シンポジスト>

医師	千葉県医師会理事	三枝奈芳紀
薬剤師	千葉県薬剤師会副会長	眞鍋 知史
病院看護師	柏市立柏病院地域連携室	虻川 良子
介護支援専門員	千葉県介護支援専門員協議会理事長	水野谷 繁
訪問看護師	千葉県訪問看護ステーション連絡協議会会長 医療法人福生会斎藤労災病院	権平くみ子 鈴木 睦美
	看護協会ちば訪問看護ステーション	畑 澄代

【まとめ】

講演会は、平成24年度の医療・介護保険制度の動向について説明された。診療報酬改定には高い関心があり、訪問看護ステーション病棟看護師の参加が多くみられた。

シンポジウムに関しては、各シンポジストの立場での現状や取り方に関する情報提供方法等の発言があった。また、今回初めての企画として、事例をとおして関係職種からの報告もあり、フロアの病棟看護師から質問意見が寄せられ関心の高いものとなった。

6-2 訪問看護サポートセンターちばの設置・運営

目的

本事業により小規模訪問看護ステーションの請求事務等業務の省力化や効率化を推進し、既卒の訪問看護ステーションが休廃止せず、かつ新規事業所が増え

千葉県の訪問看護サービスが充実する事を目的とする。

事業内容

①請求事務に係るサポート

請求事務の伝送、介護報酬の請求書の最終チェックを行い、国保連合会に伝送する。

返戻処理・国保連合会からの返戻事例に対する内容を精査し、訪問看護ステーションに通知する。

②IT化推進のサポート

看護記録のIT化普及

モバイルPC（遠隔地記録システム）の普及

訪問看護ステーションの実績統計の支援

③相談支援

情報提供・相談支援

④訪問看護サポートセンターちばの普及

看護ちば掲載 4月・10月

訪問看護ステーション開設予定事業所に事業内容の説明

新規訪問看護ステーション9か所に看護ちばの配布

まとめ

新規訪問看護ステーションに対する広報を展開したが、初期導入費用の経費負担等により応募には至らなかった。

県内の訪問看護ステーションの6割が小規模である事から、今後も支援方法について継続して検討していく必要がある。

7. 地区部会に関する事項

7-1 地区部会活動報告

(1) 千葉地区部会

地区部会長：伊部 幸子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：アロマセラピーの基礎知識を深める 講師：中野夕香里氏	日時：7/20(水) 13:30~16:00 場所：千葉市ビジネスセンター きぼーる15階多目的室 参加者：57名
	第2回研修会 テーマ：プリセプターを支援するための フォローアップ 講師：菅原 聡美氏	日時：9/21(水) 13:30~16:30 場所：千葉市ビジネスセンター きぼーる15階多目的室 参加者：64名
	第3回研修会 テーマ：コミュニケーション方法について 講師：田中 祐子氏	日時：1/25(水) 13:30~16:00 場所：千葉市ビジネスセンター きぼーる15階多目的室 参加者：49名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14(土) 10:00~15:00 場所：センシティタワー南北通路 参加者：698名
	進路相談等	まちの保健室等の活動の際にナースセンターのポスターやパンフレットを配布した
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 毎月第3土曜日 時間 14:00~16:00	実施日：4/16、6/18、7/16、 8/20、9/17、11/19、12/17、 1/21、2/18 場所：アリオモール蘇我 参加者：200名(2月末現在)
	新世紀ちば健康プラン 市民健康づくり大会	実施日：10/15(土) 場所：きぼーる1階アトリウム 参加者：450名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会(計5回)	日時：6/30、9/22、12/16、2/28、 4/20(予定) 場所：千葉市ビジネス支援センター 千葉地区における看護活動の計画・立案 及び実施後の評価
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/30(木) 14:30~16:30 場所：千葉市ビジネス支援センター 参加数：38施設 38名
	第2回連絡会	日時：2/28(火) 場所：千葉市ビジネス支援センター 参加数：31施設 32名
6 その他、地区部会活動	第32回九都県市合同防災訓練	日時：8/28(日) 9:00~12:00 場所：千葉市立有吉中学校 参加数：約3,000名(地区部会4名)
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研修会は3回実施し170名の参加があった。特に第2回目の研修会は台風と重なり参加状況が心配だったが問題なく開催できた。千葉県看護協会での研修も千葉市内での開催なので、地区部会として特色を持った研修会の企画が必要である。 ・「まちの保健室」はテーマを掲げ企画したが、アリオ蘇我のスペースが昨年に比べ減少し、アリオの改装後若い家族連れが多く、音が大きく健康相談をゆっくりやれる雰囲気ではなくなった。別の開催場所を確保するのも難しい。次年度の開催方法等検討する必要がある。 ・今度は予算がついて、年度末になったが備品の血圧計5台を買い替える事が出来た。 		

今後の取り組み（残された課題）

- ・まちの保健室の継続評価。
- ・興味、関心のある研修会の企画、運営。
- ・地区部会としての役割の検討。

(2) 市原地区部会

地区部会長：高野 友子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：褥瘡 講師：高木 弘枝・細川 朱美氏	日時：6/8（水）18：00～20：00 場所：サンプラザ市原 参加者：177名
	第2回研修会 テーマ：摂食嚥下障害 講師：高梁 淳也氏	日時：10/19（水）18：00～20：00 場所：サンプラザ市原 参加者：57名
	第3回研修会 テーマ：災害看護 講師：山田 俊之・増田 勝之氏	日時：1/27（金）16：00～18：00 場所：サンプラザ市原 参加者：35名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日 ふれあい看護体験	日時：8/8（月）～12日（金） 9：30～15：00 場所：帝京大学千葉医療センター ・千葉労災病院 参加者：13名・15名
	進路相談等 鶴舞看護専門学校・労災看護専門学校 千葉労災病院	日時：学校訪問時 場所：各高等学校、コミュニティセンターなど 参加者：多数名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間 9：30 ～ 15：00	実施日：6/18、7/16、9/17、11/19、12/17 場所：カインズホーム市原店 参加者：81名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：まちの保健室 時間 10：00 ～ 15：00	実施日：5/14 場所：市原市保健センター 参加者：110名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：まちの保健室 時間 9：30～15：00	実施日：10/24 場所：市原市保健センター 参加者：130名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会（計7回）	日時：4/13、6/1、7/6、9/7、 10/5、12/7、2/8 場所：市原看護専門学校
	加入促進：研修会時広報活動 各施設での説明会と勧誘	6/8、10/19、1/27
5 区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：4/13（水）15：00～16：00 場所：市原看護専門学校 参加数：5施設 5名
	第2回連絡会	日時：9/7（水）15：00～16：00 場所：市原看護専門学校 参加数：2施設 2名
6 その他、地区部会活動	研修会への参加促進 市町村及び関係団体との協力・活動 高滝湖マラソン看護師派遣 全国中学校剣道大会看護師派遣	会員・非会員への情報提供 協議会など10の関連団体の委員就任 1/14 1/8～9
総括	<p>・概ね計画通りに実施できたが、常設型のまちの保健室の参加者が少なく、今後は地域住民の健康増進保健活動に積極的に関わる必要があるため検討を進めていきたい。</p> <p>・さらに施設間や会員相互の親睦を深めながら、地域としての医療連携を強化できるよう取り組んでいく必要がある（地域住民の健康維持増進にとどまらず災害時の連携も含めて）。</p>	

今後の取り組み(残された課題)

- ・研修会の開催に関して、より多くの参加者を得るための内容と時間などの検討が必要(ニーズの把握)。
- ・常設型まちの保健室の参加者が少ないため、場所・時間・回数などの検討も必要。
- ・地域連携の強化。

(3) 船橋地区部会

地区部会長：西方 恭子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：「食べたい! を支えたい」 ～嚥下障害の知識とケアの方法・嚥下食について～ 講師：上野原厚子氏・中込ひろみ氏	日時：7/20(水)14:00～16:00 場所：船橋市立医療センター 参加者：81名
	第2回研修会 テーマ：「災害時の看護職の役割について」 講師：森岡しずか氏・大桐四季子氏 青野真美子氏	日時：10/19(水)14:00～16:00 場所：社会保険船橋保健看護専門学校 参加者：46名
	第3回研修会 テーマ：「看護職のワークライフバランス ～実際の取り組みと勤務管理」 講師：蒲島 竜也氏・山田みどり氏	日時：2/22(水)15:00～17:00 場所：社会保険船橋保健看護専門学校 参加者：60名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14(水)10:00～16:00 場所：JR船橋駅コンコース 参加者：1,042名
	進路相談等	日時：11/14(月)13:30～15:00 場所：県立船橋豊富高等学校 参加者：5名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 毎月第2(火) 時間12:00～17:00	実施日：4/12、5/10、6/14、7/12、 8/9、9/13、10/11、11/8、 12/13、1/10、2/14、3/13 場所：イオン津田沼店 参加者：320名
	まちの保健室(イベント型) ふなばし健やかプラン21 時間 10:00～15:00	実施日：11/6(日) 場所：船橋市運動公園 参加者：48名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会(計9回)	日時：4/14、6/16、7/7、7/20、 9/8、10/19、11/10、1/26、 2/22 場所：船橋市男女共同参画センター・ 社会保険船橋保健看護専門学校・ 船橋市立医療センター
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：7/7(水)13:00～14:30 場所：男女共同参画センター 参加数：30施設 30名
	第2回連絡会	日時：2/22(水)13:00～14:30 場所：社会保険船橋保健看護専門学校 参加数：29施設 30名
6 その他、地区部会活動	1. 地域の防災訓練に参加	①船橋市総合防災訓練 8/28(日)9:00～12:00 市内55ヶ所の小中学校にて実施 協力会員 63名
	2. 地域のイベントに参加	①船橋市救急シンポジウム 9/3(土)13:00～15:30 協力会員 1名

6 その他、地区部会活動	3. 市町村及び関係団体との活動 (地区部会より委員の推薦)	①習志野健康福祉センター運営協議会委員 ②船橋市保健・医療・福祉問題懇談会 ③船橋市介護保険事業運営協議会 ④船橋市地域包括支援センター運営委員会 ⑤船橋市救急医療シンポジウム委員会 ⑥船橋市災害医療活動研究委員会 ⑦船橋市国民保護協議会 ⑧船橋健やかプラン21市民運動推進会議 ⑨東葛南部地域保健医療協議会 ⑩船橋市介護保険認定審査会 ⑪八千代市介護保険認定審査会 ⑫鎌ヶ谷市介護保険認定審査会 ⑬船橋市精神障害者介護給付等認定審査会 ⑭看護師等就業協力員
総括 ・今年度は鎌ヶ谷市のイベントが中止となった以外は、通年どおりの活動がスムーズに行えた。 ・ふなばし健やかプラン21は年々参加数が減っている。今年は急遽役員が1名参加できなくなったが、対応可能であったことから、来年度については役員担当人数の検討が必要である。 ・研修については地域での職域を越えたディスカッションが行えたことは有意義であった。		
今後の取り組み(残された課題) ・引き続き、地域での多職種による連携をテーマにした活動を行っていくことと、地域で活動している認定看護師や専門看護師の活用をしていきたい。 ・就業問題についても地域で取り組める対策などのディスカッションが望まれる。		

(4) 市川地区部会

地区部会長：園田 満子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：医療と介護の連携について 講師：大塚 光宏 氏	日時：7/2 (土) 14:00~16:15 場所：山崎製パン企業年金会館 参加者：45名
	第2回研修会 テーマ：地域連携について(シンポジウム) 講師：大塚 光宏 氏・渡邊 一枝 氏 福本美映子 氏・泉山 明美 氏	日時：12/3 (土) 14:00~16:30 場所：山崎製パン企業年金会館 参加者：56名
2 看護の普及及び 進路相談	1. 県民が集う「看護の日」 まちの保健室(イベント型)	日時：5/14 (土) 11:00~15:00 場所：市川中央図書館 参加者：98名(のべ217名)
	2. 進路相談等 看護進路相談	日時：10/28 (金) 13:20~14:10 場所：市川南高校 参加者：16名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 毎月第3(土) 時間 11:00~15:00	実施日：6/18、7/16、9/17、10/19 12/17、1/14、2/18 場所：市川中央図書館 参加者：144名(のべ280名)
	まちの保健室(イベント型) 健康フェア浦安 時間 13:00~16:00	実施日：11/13 場所：浦安市民プラザWave101 参加者：16名
4 組織の強化と 協会加入の促進	看護協会のPR	

5 地区内会員に対する 連絡調整	1. 地区部会連絡会 (年間2回) ・活動計画 ・活動状況 ・看護協会事業計画 ・施設間情報交換	日 時：第1回 6/17 (金) 15:00~17:00 場 所：山崎製パン企業年金会館 参加数：20施設 21名
		日 時：第2回 10/14 (金) 15:00~17:00 場 所：山崎製パン企業年金会館 参加数：19施設 20名
	2. 役員会 (年間6回) ・看護協会事業報告 ・各事業の活動計画 ・各事業の結果及び評価 ・情報交換	日 時：5/13、6/17、9/9、10/14、 12/2 2/10 場 所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 山崎製パン企業年金会館
6 その他、地区部会活動	市町村及び関係団体の活動	①市川・浦安地域・職域連携推進協議会 ②市川・浦安自殺対策を考える」連絡会議
<p>総 括</p> <p>○まちの保健室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年施設協力員の方が増加し役員の負担が軽減された。また、協力員の方の参加によって、いろいろな意見ももらえ参考になった。 ・保健師さんの参加があることで指導できる内容が充実するので、今後も協力していただけるとありがたい。 ・まちの保健室で実施している内容については、もう少し時代に即したことを考えていく必要があると思う反面、人的なことになると限界を感じる。 ・役員会の開催回数が看護協会からの指定では年6回となっているが、研修会の打ち合わせなども含め、かなり前から準備しておかないと研修会の開催までに役員会がなくなきちんとした打ち合わせができない。 ・研修会はシリーズで地域連携についてをテーマとして継続していることもあって、参加者も増え活発な意見交換が実施できている。 <p>今後の取り組み (残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員施設を決める際、輪番制で役員を受けてもらうよう決めているが、施設のトップが不在であるなどの理由でなかなか決まらない。 		

(5) 松戸地区部会

地区部会長：根本由美子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：5S活動について 講師：吉良 憲輔氏	日 時：7/15 (金) 10:00~16:00 場 所：テルモメディカルプラネックス 参加者：22名
	第2回研修会 テーマ：災害看護 講師：大城 明美氏・遠藤 祐紀氏	日 時：11/18 (金) 14:00~16:30 場 所：東葛クリニック病院 参加者：38名
	第3回研修会 テーマ：コミュニケーションスキル 講師：白石 美佳氏	日 時：2/17 (金) 14:00~16:00 場 所：森のホール21 (大会議室) 参加者：26名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日 時：5/14 (金) 10:30~15:00 場 所：松戸駅東口デッキ 参加者：108名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室 (常設型) 毎月第2 (土) 時間 13:00~16:00	実施日：10/8、11/12、12/10、1/14、 2/4、3/10 場 所：イトーヨーカドー4階 参加者：10名
	まちの保健室 (イベント型) 松戸まつり 時間 10:00~16:00	実施日：10/2 (日) 場 所：松戸駅西口デッキ 参加者：181名

4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会 (計11回)	日 時：4/15、5/20、6/17、8/15、 9/16、10/21、11/18、12/16 1/20、2/17、3/16 場 所：新東京病院
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/17 (金) 14:00~15:30 場 所：新東京病院 参加数：16施設 18名
	第2回連絡会	日 時：1/20 (金) 13:00~15:30 場 所：新東京病院 参加数：15施設 18名
6 その他、地区部会活動	救護班	8/27 (金) 松戸花火大会
総 括 ・年2回の施設連絡会での情報交換は有意義であり、各施設の状況など共有することができた年3回の研修は、希望も取り入れながら企画し毎回好評であった。		
今後の取り組み (残された課題) ・まちの保健室の開催場所変更により利用者が更に減少。 ・広報・開催場所の検討。		

(6) 東葛地区部会

地区部会長：五十嵐里香

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：癒しのフットケア 講師：山中 彩氏・岡田 純子氏	日 時：8/10 (水) 14:00~15:30 場 所：ウエルネス柏 参加者：57名
	第2回研修会 テーマ：メンタルヘルスケア 講師：木村 尚美氏	日 時：10/12 (水) 14:00~15:30 場 所：ウエルネス柏 参加者：51名
	第3回研修会 テーマ：看護倫理 一私の体験から一 講師：五十川久子氏	日 時：2/3 (水) 13:00~14:30 場 所：ウエルネス柏 参加者：16名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日 時：5/14 (土) 10:00~14:00 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：100名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室 (常設型) 毎月第2 (土) 時間 10:00~14:00	実施日：5/14、7/9、9/10、11/12、3/10 場 所：道の駅 しょうなん 参加者：延べ379名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会 (計6回)	日 時：5/14、7/9、9/10、11/12、 2/3、3/10 場 所：道の駅 しょうなん
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：8/10 (水) 15:45~17:00 場 所：ウエルネス柏 参加数：24施設 24名
	第2回連絡会	日 時：2/3 (水) 14:40~16:00 場 所：ウエルネス柏 参加数：16施設 16名
6 その他、地区部会活動		
総 括 ・前年度の活動評価を受け、施設間の連携と課題解決に向けた対応を活動方針としたが、具体的な提案には至らなかった。 ・連絡会において、今年度は特に県協会の公益法人への移行に関し、直接専務理事の説明を受けたが、その後活動内容についての協議は実施できなかった。 ・「まちの保健室」については、広報活動の一環として、展示や用紙の工夫等来場者に対しわかりやすさを強調した取り組みが行えた。		

今後の取り組み（残された課題）

- ・地区部会活動そのものが役員のための参画になっており、運営のあり方について、まず役員間で検討する必要がある。その上で地域の現状、情報を踏まえ、連絡会を通し、可能な連携の要件や対応を提案できるようにする。

(7) 印旛地区部会

地区部会長：前田富士子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：認知症のケアについて 講師：窪田 妙子 氏	日時：6/29（水）14：00～16：00 場所：聖隷佐倉市民病院 参加者：83名
	第2回研修会 テーマ：大震災に関連した医療支援から学ぶ 講師：シンポジスト3 氏	日時：12/14（水）14：00～16：00 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 参加者：72名
	地区内卒後教育公開研修	日時：年間通して随時 場所：東邦大学佐倉病院・成田日赤・聖隷佐倉 参加者：延べ56名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14（土）13：00～17：00 場所：ボンベルタ成田店 参加者：延べ208名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室（常設型） 毎月第2（日） 時間 13：00～17：00	実施日：6/12、7/10、8/14、9/11、10/9、 11/13、12/11、1/8、2/12 場所：ボンベルタ成田店 参加者：延べ880名
	まちの保健室（イベント型） 成田健康福祉まつり	実施日：10/15（土）10/16（日） 8：30～17：00 場所：成田市健康福祉館 参加者：延べ1,204名
	まちの保健室（イベント型） 乳がんピンクリボンキャンペーン	実施日：1/14（土）13：00～17：00 場所：ボンベルタ成田店 参加者：16名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会（計8回）	日時：4/28、5/26、6/29、7/13、 9/14、11/9、12/14、2/10 場所：東邦大学医療センター佐倉病院
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：7/13（水）14：00～16：00 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 参加数：施設15名
	第2回連絡会	日時：11/9（水）14：00～16：00 場所：東邦大学医療センター佐倉病院 参加数：施設13名
6 その他、地区部会活動	佐倉朝日健康マラソンにおける救護活動	日時：3/25（日）7：30～17：00 場所：岩名運動公園 参加者：28名（救護担当）
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内卒後教育公開研修に関しては、参加施設が限られているものの、延べ56名の参加が得られた。継続することで、徐々にネットワークを拡大する必要がある。2回の研修会は好評で、地域内のネットワークの強化を意識づけるものであり効果的であった。 ・まちの保健室はボンベルタ成田店において定着してきたところであるが、ボンベルタ店改修工事のため3月～5月までの使用が不可となり、3月の活動ができなかった。 		
<p>今後の取り組み（残された課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保及び定着対策 ・会員数の増大 ・地区連絡会の充実。不参加施設への情報提供及び参加したくなる取り組み。 		

(8) 利根地区部会

地区部会長：山岸 聡子

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：ストレスマネジメント 講師：京谷 幸一氏	日時：8/9 (火) 14:00~16:30 場所：国保旭中央病院 参加者：87名
	第2回研修会 テーマ：地域でみるがん患者への支援その1 講師：越川 裕二氏・福島 俊之氏	日時：11/4 (金) 18:40~20:00 場所：国保旭中央病院 参加者：60名
	第3回研修会 テーマ：地域でみるがん患者への支援その2 講師：平河 美穂氏・阿蘇ひろ子氏	日時：1/20 (金) 14:00~15:30 場所：国保匠瑳市民病院 参加者：40名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	実施日：5/14 場所：イオン銚子ショッピングセンター 参加者：1名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土曜日） 時間 10:00~15:00	日時：6/18、7/16、10/15、11/19、12/17 場所：ふれあいパーク八日市場・ 多古あじさい館・水の郷さわら 参加者：226名
	まちの保健室（イベント型） 看護の日 時間 10:30~14:30	実施日：5/14 場所：イオン銚子ショッピングセンター 参加者：993名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会（計10回）	日時：4/15、5/20、6/16、8/9、9/7、 10/21、12/8、1/21、2/24、3/16 場所：田村記念病院・国保旭中央病院・ 県立佐原病院・国保東庄病院・ 国保匠瑳病院・島田総合病院
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/16 (木) 15:00~16:30 場所：国保旭中央病院 参加数：23施設 28名
	第2回連絡会	日時：3/16 (金) 16:15~17:45 場所：国保旭中央病院 参加数：15施設 20名
6 その他、地区部会活動		
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は震災があったこともあり、第1回目の研修会は「心の健康」をテーマにすることを決めて開催した。自身がリラクゼーションを体験し、ストレスの対処方法への学びにつながった。また震災後不眠であったスタッフも、対処方法を学べたことで満足感に繋がっていた。 ・2回目と3回目はシリーズとして「地域でみるがん患者への支援」をテーマに、地域連携の仕組み作りと地域での活動について医師の立場からと看護師の立場からで講演会を企画した。地域でがん患者を支援するには連携や、症状マネジメントが必要であること、訪問看護師の役割などを学ぶことが出来た。シリーズで行ったことで、他職種との連携や看護師の役割などを考えることも出来た。 ・進路相談は各施設で行い、地区部会としての活動は「看護の日」に行なった。 ・「まちの保健室」は会場の都合により、予定より1回少なかった。時期や天候により参加者には差があったが、健康への関心や看護協会の取り組みを知る機会にもなった。 <p>今後の取り組み（残された課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めてシリーズで研修を企画する。 ・「進路相談」や「看護体験」は、各施設で取り組まれ、部会としての共通理解は就労状況を確認する時に行い、自施設の活動に活かしている。次年度も同様に共通理解していくよう取り組む。 ・「まちの保健室」は「水の郷 さわら」で冬に行うと、気温の低さから利用しにくい状況が伺えたので、時期の調整を行って開催する。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：医療現場における暴力の認識と 暴言・暴力への対応 講師：三木 明子 氏	日 時：7/9 (土) 13:30～15:30 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加者：63名
	第2回研修会 テーマ：「あなたのエンゼルケアは正しいですか?～ 遺体管理学の視点から考えるエンゼルケア」 講 師：緩和ケア認定看護師 廣瀬真紀子 氏	日 時：10/29 (土) 13:30～15:30 場 所：山武健康福祉センター 3階会議室 参加者：721名
	第3回研修会 テーマ：「私たちにもできる摂食・嚥下困難」 講 師：摂食嚥下障害認定看護師 掛巢 孝則 氏	日 時：1/21 (土) 13:30～15:30 場 所：県立東金病院会議室 参加者：51名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日 時：5/14 (土) 10:00～12:30 場 所：東金サンピア1階センターコート 参加者：329名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室 (常設型) 毎月第3 (土) 時間 14:00～16:00	実施日：6/18、7/16、8/20、9/17、10/15、 11/12、12/17、1/21、2/18 場 所：東金サンピア2階スカイコート 参加者：102名 (延べ306名)
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会 (計6回)	日 時：4/12、6/14、9/13、11/8、 1/10、3/6 場 所：山武健康福祉センター3階会議室
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/14 (火) 15:00～17:00 場 所：山武健康福祉センター3階会議室 参加数：13施設18名
	第2回連絡会	日 時：9/13 (火) 15:00～17:00 場 所：山武健康福祉センター3階会議室 参加数：13施設19名
	第3回連絡会	日 時：3/6 (火) 15:00～17:00 場 所：山武健康福祉センター3階会議室 参加数：11施設16名
6 その他、地区部会活動		
<p>総 括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区部会の再編成の可能性が高い中で、今一つ新しい試みへのチャレンジができず今までの延長の活動であった。数年後にこの地域の医療状況が改善される可能性に期待するも、現状は施設の多くが弱小化、衰退化の不安の中で地区部会活動にも影響している。 ・まちの保健室の開催施設の変化も検討課題である。 ・研修会の参加者数は期待どおりで今後もより身近なテーマで開催したい。 		
<p>今後の取り組み (残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模地区部会を生かし施設間の連携を深め、全体のレベルアップをはかる。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：褥瘡について (処置・治療・評価) 講師：鈴木 由加氏	日時：7/21(木) 13:30~17:00 場所：睦沢町農村環境改善センター 参加者：93名
	第2回研修会 テーマ：COPDの理解 講師：安藤 正子氏	日時：11/10(木) 13:30~17:00 場所：睦沢町農村環境改善センター 参加者：66名
	第3回研修会 テーマ：看護研究発表会 講師：大竹 芳子氏	日時：1/26(木) 13:30~17:00 場所：睦沢町農村環境改善センター 参加者：58名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14(木) 12:30~15:30 場所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：延べ848名 協力員43名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 毎週(土) 時間 10:00 ~14:00	実施日：5/3、6/4、7/5、8/4、9/4、10/5、 11/4、12/4、1/4、2/4、3/5 場所：茂原ショッピングプラザ「アスモ」 参加者：延べ1,062名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会(計7回)	日時：4/6、6/23、7/21、10/27、 11/10、1/26、2/23
	研修会3回	研修会で「看護ちば」「入会案内」を非会員へ渡して入会を勧めている
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/23(木) 15:00~17:00 場所：君塚病院 参加数：18施設 20名
	第2回連絡会	日時：10/27(木) 15:00~17:00 場所：君塚病院 参加数：20施設 21名
	第3回連絡会	日時：2/23(木) 15:00~17:00 場所：君塚病院 参加数：16施設 17名
6 その他、地区部会活動	看護職の確保対策	長生地区の看護師の不足の現状と子育て支援について茂原市の福祉担当の市議会議員へ面会して文書で訴える 高校の進学指導の先生へ看護学校への進学指導を依頼する
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室は長生病院・いすみ医療センターから多数の協力員があり、多くの人に看護協会の活動を体験できている。 ・看護の日は内容を工夫したため、22年度に比べ来訪者が多かった。今年度は更に充実させていく ・研修会は、「褥瘡」は会員より非会員の方が参加者が多かった。「COPD」は非会員の准看の参加者が会員の准看護師より多かった。 ・看護研究発表は准看護師より正看護師のほうが参加者が他の研修に比べ多かった。 ・介護者は褥瘡の参加が他の研修に比べ非常に多かった。全体的にはバランスのとれた研修が実施できた。 <p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室活動は充実してきているので今後も現状維持できる様にしていく。研修会は身近なところで研修できてありがたい。という声が多いので、23年度同様介護者や非会員の参加を多くし、看護協会への入会を勧めていく。 ・会員施設の連携が進展できる様懇親会への参加者を多くして、情報交換の場と連絡会が活かされるようにする。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：看護職者のストレスマネジメント 講師：小池美喜子氏	日時：7/21(木) 13:20～15:30 場所：君津中央病院 参加者：49名
	第2回研修会 テーマ：災害看護研修 講師：黒崎貴和子氏	日時：12/16(金) 13:30～15:30 場所：君津中央病院 参加者：100名
	事例研究発表会	日時：2/24(金) 13:30～15:30 場所：君津中央病院 参加者：60名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14(土) 10:00～15:00 場所：イオン木更津店 参加者：100名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 毎月第3(土) 時間 13:30～16:30	実施日：6/18、7/16、8/20、9/17、 11/19、12/17、1/21、2/18 場所：イオン木更津店 参加者：245名
	まちの保健室(イベント型) 健康と福祉のふれあいまつり 時間 10:00～15:00	実施日：10/15 場所：君津健康福祉センター 参加者：124名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会(計7回)	日時：4/15、6/16、9/9、11/17、 1/19、2/24、3/2 場所：君津中央病院
	看護協会未加入3施設へ、加入のお願い と書類発送	実施日：11/25
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/16(木) 15:00～16:30 場所：君津中央病院 参加数：14施設 16名
	第2回連絡会	日時：1/19(木) 15:00～16:30 場所：君津中央病院 参加数：13施設 21名
6 その他、地区部会活動		
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会は看護師の離職の要因として大きい、ストレスマネジメントを取り上げ、参加者の満足度は高かった。第2回は3.11を受け災害に関する希望が大きかった為「災害看護研修」とし、多くの看護職の参加を得、各自課題も見えてきているが取り組みの差は大きい。 まちの保健室は定着し、一定の役割を果たしている。 協会加入の促進については、機会あるごとに働きかけているが、組織としての強化を図るため県協会とも連携し、継続して加入を促す。 <p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害看護研修や施設連絡会においても情報交換し、災害時地域での協力・情報の共有の必要性を認識できた。各施設課題も見えてきているが取り組みは施設毎の差が大きい。災害時に地域で連携するために地区部会、施設連絡会で連携方法について考えていく。 当地区は外部からの看護職の流入は望めない地域であるため引き続き、離職防止のために地区部会が担えることを考え取り組む。 		

事業項目	実施項目	実施内容
1 看護に関する教育研修	第1回研修会 テーマ：看護職の進路相談に係る研修会 講師：丸山 祝子氏・山崎美佐子氏 深谷智恵子氏・青木 啓子氏	日時：8/6(土) 13:00~16:00 場所：亀田医療技術専門学校2階教室 参加者：21名
	第2回研修会 テーマ：看護研究論文の書き方、発表のしかた 講師：山崎美佐子氏	日時：9/17(土) 14:00~16:00 場所：旧館山准看護学校2階研修室 参加者：34名
	第3回研修会 テーマ：退院支援研修会 講師：佐々木真弓氏・吉野有美子氏	日時：11/12(土) 14:00~16:00 場所：旧館山准看護学校2階研修室 参加者：35名
2 看護の普及及び 進路相談	看護の日	日時：5/14(土) 10:00~15:00 場所：ロックシティ館山 参加者：500名
	進路相談等 中高進路担当者対象進路ガイダンス実施	日時：8/6(土) 13:30~16:00 場所：亀田医療技術専門学校2階教室 参加者：6名(進路担当教員) 各施設担当者・進路体験発表者4名
3 住民を対象とする 看護活動	まちの保健室(常設型) 3か月毎第1(土) 時間 10:00~12:00	実施日：6/12、11/5、2/4 場所：ロックシティ館山・イオン鴨川 参加者：50+20+13=83名
4 組織の強化と 協会加入の促進	役員会(計12回)	日時：4/13、5/14、6/15、7/13、 8/6、9/17、10/12、11/12、 12/7、1/25、2/18、3/14 場所：赤門整形外科内科4階会議室・ なのはな館1階会議室
5 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日時：6/15(水) 13:30~15:30 場所：なのはな館1階会議室 参加数：14施設 16名
	第2回連絡会	日時：10/12(水) 13:30~15:30 場所：なのはな館1階会議室 参加数：13施設 16名
	第3回連絡会	日時：3/14(水) 13:30~15:30 場所：なのはな館1階会議室 参加数：17施設 19名
6 その他、地区部会活動	地域連携協力(看護師派遣)	南房総市体力測定(2名) 黒潮サッカー(14名) 千倉ロードレース(2名) 館山市寒中水泳大会(4名) 若潮マラソン大会(6名)
<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、看護師育成のための関わり研修会を企画した。看護職に関する興味関心どの低さが明らかになった。今後の対応方法の指針になった。 高校生に進路ガイダンスや進路相談をするのにも、学生の気を引くような方法を戦略として挙げる必要があると感じた。看護師不足改善には、時間が様子する。 今勤務している人のストレスを削減し離職に向けた関わりについてより努力が必要と感じた。 常設型まちの保健室を実施したが、地域住民に対し開催の周知徹底されていなかったため参加者が少なかった。広報方法を検討した。 <p>今後の取り組み(残された課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職の育成のため実施している進路ガイダンス等に積極的に参加する。行事開催に向けた広報活動も実施し地域住民に周知徹底し看護師の活動を理解して頂く。 		

7-2 地区部会会計執行状況

単位 円 24.3.31

	地区部会	収入	前期支出	後期支出	支出計	残額	執行率	銀行利息
1	千葉	760,000	437,011	289,704	726,715	33,285	95.6%	44
2	市原	470,000	130,003	304,258	434,261	35,739	92.4%	46
3	船橋	550,000	256,478	138,919	395,397	154,603	71.9%	38
4	市川	522,236	227,828	294,408	522,236	0	100.0%	44
5	松戸	550,000	188,845	164,672	353,517	196,483	64.3%	45
6	東葛	500,000	154,531	111,403	265,934	234,066	53.2%	52
7	印旛	605,000	224,001	315,819	539,820	65,180	89.2%	28
8	利根	520,000	257,910	225,191	483,101	36,899	92.9%	3
9	山武	413,000	236,543	139,328	375,871	37,129	91.0%	53
10	長夷	836,000	422,680	283,780	706,460	129,540	84.5%	54
11	君津	548,000	187,668	320,505	508,173	39,827	92.7%	43
12	安房	910,000	315,985	310,323	626,308	283,692	68.8%	71
	計	7,184,236	3,039,483	2,898,310	5,937,793	1,246,443	82.7%	521

部門	総収入	前期支出	後期支出	支出計	残高
地区部会	7,184,236	3,039,483	2,898,310	5,937,793	1,246,443
看護協会	2,215,764	367,239	507,625	874,864	1,340,900
	9,400,000	3,406,722	3,405,935	6,812,657	2,587,343

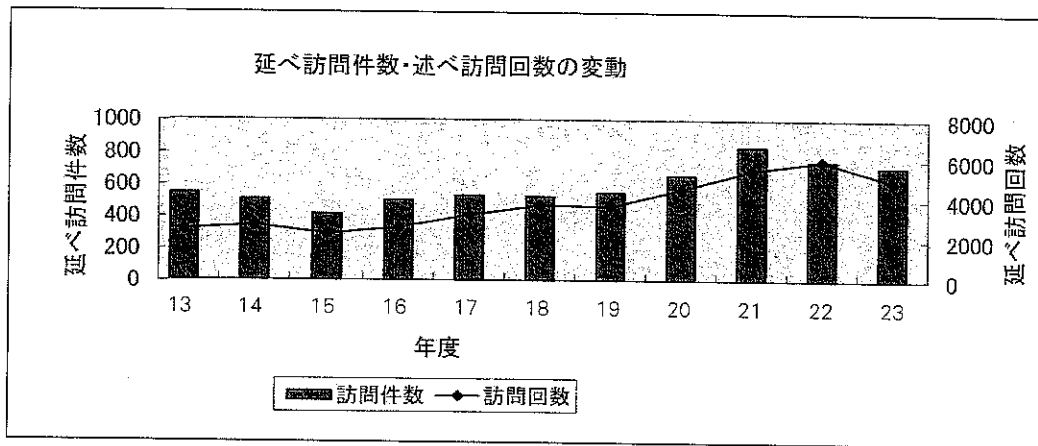
前年

収入	前期支出	後期支出	支出計	残高	執行率	銀行利息
9,400,000	3,631,487	3,724,186	7,355,673	2,044,327	78.3%	593

8. ちば訪問看護ステーション事業に関する事項

8-1 訪問看護及び居宅介護支援事業の延べ実績

保険区分	事業年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護保険での訪問看護	件数	447	409	315	349	367	332	347	421	553	464	479
	訪問回数	1,946	2,025	1,498	1,568	1,716	1,566	1,640	2,072	2,844	2,956	2,557
医療保険での訪問看護	件数	95	94	99	149	161	192	201	235	278	280	231
	訪問回数	578	718	827	1,058	1,550	2,205	2,064	2,501	2,662	3,028	2,421
合計	訪問件数	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710
	訪問回数	2,524	2,743	2,325	2,626	3,266	3,771	3,704	4,573	5,508	5,984	4,978
	常勤換算						4.1	4.4	5.6	6.0	6.8	5.7
居宅支援事業	プラン件数	430	414	371	610	600	450	437	572	732	736	667



*平成23年度の、訪問看護師の常勤換算人数が平均5.7人で、月平均訪問看護数は415回であった。

1人1日平均3.6件を訪問している。スタッフ数が減り訪問件数・訪問回数ともにわずかに低下した。

*保険別でみると、利用者数は介護保険の方が多いが、訪問回数は医療保険の方が多。医療依存度の高い方が多い。

*居宅支援ではケアマネージャの常勤換算が1.6人で、月平均56件であった。

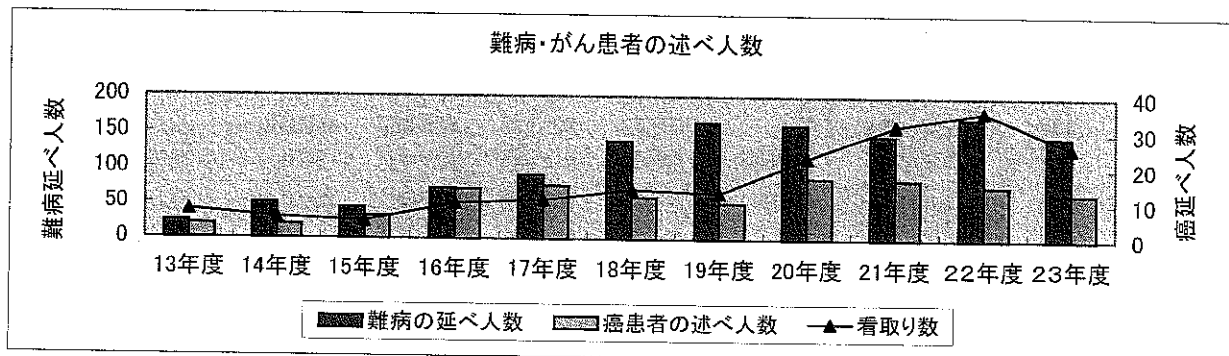
8-2 難病・癌患者の延べ人数と看取り数

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
延べ訪問人数	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710
難病患者の延べ人数	24	50	44	71	90	138	164	161	146	171	145
癌患者の延べ人数	20	20	32	70	75	59	51	86	84	76	65
看取り数	8	6	5	10	11	14	13	23	32	36	26
(うち在宅での看取り)					2	4	10	12	16	21	11

*難病の延べ人数は平成18年度から増加している。

癌患者述べ人数と看取りの述べ人数は平成20年度から増加している。

*看取りの内、約半分の方が在宅で看取られている。



8-3 緊急・臨時訪問の時間帯延べ件数

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日中 8時-18時					16	23	28	49	126	156	89
早朝 6時-8時			1				1	4	11	5	20
夜間 12時-22時	6	1	5	2	5	10	8	18	36	35	40
深夜 22時-6時							3	9	25	34	38
計	6	1	6	2	21	33	40	80	198	230	187

*年々、緊急・臨時訪問数が増加している。

*夜間帯の（18～8時）の勤務外の訪問件数が多い。

年度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
休日訪問件数	9	1	4	8	7	15	34	77	172	174	118

*平成20年度から、予定訪問・緊急訪問を含め休日の訪問回数が増加している。

8-4 学生実習・研修の状況

実習生・研修生述べ数(人)	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	90	82	81	106	125	129	139	126	156	164	203

*平均 年6～9箇所の学校から実習学生を受け入れている。

8-5 居宅支援事業

平成年度	利用者数	年齢		性別		地区					介護度					
	実績数	1号	2号	男	女	美浜区	中央区	稲毛区	花見川区	四街道	支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
13年度	430	394	36	121	309	230	80	120	0	0	1	36	78	59	94	162
14年度	418	380	38	167	251	223	70	125	0	0	16	51	56	78	90	127
15年度	371	321	50	202	169	225	52	89	5	0	16	95	38	42	45	135
16年度	610	534	76	302	308	437	68	76	29	0	25	247	81	77	58	121
17年度	600	526	74	279	321	443	69	64	24	0	56	209	88	40	71	136
18年度	451	404	47	249	202	329	37	73	12	0	22	99	37	64	58	171
19年度	439	349	90	222	217	336	37	54	12	0		75	42	81	73	168
20年度	572	438	134	306	266	401	70	84	17	0		88	80	120	108	176
21年度	748	576	172	403	345	448	129	122	49	0		165	124	108	164	187
22年度	726	576	150	390	336	454	82	140	50	0		84	155	97	131	259
23年度	658	552	106	264	394	402	75	89	82	10		50	139	117	104	248

*17年度まで介護支援専門員常勤換算1.1名、1名の標準担当件数50名。18・19年度常勤換算1.2名、1名の標準担当件数35名。20年度からの常勤換算1.7名、1名の標準担当件数35名。23年度は、常勤換算1.6名、1名の標準担当件数35名。

*2号被保険者が20%を示しているのは、特定疾患や癌末期が多いことが影響していると考えられる。

*地区別では、当事業所が美浜区に所在しているために、美浜区に集中していると考えられる。

*介護度別は、要介護5の利用者が多い。介護度が高い利用者が多いのは、介護支援専門員の基礎職が看護師であることと訪問看護ステーションが併設している為と考えられる。

要 望 書

平成23年9月1日

千葉県知事 森田健作 様

社団法人 千葉県看護協会
会 長 松永 敏子

東日本大震災では甚大な被害が発生し、多くの命が失われました。

われわれ看護職に課せられた役割は、改めて命の尊さを心に留め、その命に寄り添うために、質の高い安心・安全な医療・看護を提供する努力をし続けることだと考えます。

しかし、昨年12月に作成された「第7次千葉県看護職員需給見通し」では、平成23年度において2,430.5人、平成27年においても尚、1,481.6人の供給不足が見込まれるという厳しい状況が示されました。

安定した医療提供体制の構築には、医療従事者の資質の向上とゆとりを持って命に向き合えるほどの人員の確保が課題です。

(社)千葉県看護協会は、会員22,432人を擁する職能団体として、看護職の確保・定着及び資質の向上を図るとともに、県民の保健医療福祉の向上に寄与することを目的に、日々活動しております。

特に、「看護職の確保・定着」については、看護職が持つ本来の機能を十分に発揮し、働き続けられる環境整備を最重点課題として取り組んでいるところです。

今後とも、県民が健康で安心して暮らせる社会を目指して、看護の専門性をいかした活動を充実していきたいと考えておりますので、より一層のご支援・ご協力を賜りたく次の事項について要望いたします。

I. 千葉県における看護職の確保・定着対策について

毎年、多くの看護職が道半ばにして職場を離れている。

県民に安心して安全な医療・看護を提供するためには、質の高い看護職の養成確保と専門性を発揮し、働き続けられる環境づくりが最重要課題である。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 養成力の強化と資質の向上について

(1) 看護学生の確保について

看護を志す質の高い学生の確保をするため、中・高校生に対して看護に対する関心を促すために教育関係者との連携を強化されたい。

(2) 千葉県立保健医療大学における看護基礎教育の充実と大学院教育の促進等について

「保健師助産師看護師法」の改正により、保健師・助産師の教育年限が1年以上に延長された趣旨を踏まえ、看護職の役割拡大や専門性の向上等社会の期待に応える看護職の確保するために以下の事項について実施されたい。

ア. 看護基礎教育の充実した当大学の看護学生の1学年定員の増加

イ. 保健師、助産師及び特定看護師(仮称)等の専門的教育機関としての大学院教育の開始

ウ. 看護職の卒後研修の役割を果たせる付属機関(仮称看護研修センター)を併設

(3) 看護師等養成校及び実習施設における臨地実習体制等の整備について

看護師等養成校において看護実践を重視した看護基礎教育を実施するためには、専任教員及び実習指導者の質的・量的な確保が不可欠である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. 看護技術教育の向上を図るため、新人看護教育を含む専任教員に対し実践力を重視した再教育研修を継続的に実施されたい。

イ. 看護教員成講習会を計画的に実施されたい。

ウ. 病院における実習指導者については、専任として位置づけるよう指導されたい。また、実習病院に専任として位置づけられた実習指導者に対し、県から助成されたい。

(4) 修学資金の貸付制度について

ア. 現状の社会情勢等を踏まえて、看護学生が安心して勉学に集中できるように、必要な者に対する貸付等修学資金のあり方を再検討されたい。

イ. 他県の看護師等養成校の学生で、卒業後千葉県内に就業を希望する者を含む県内就業者の確保・定着を推進するために、貸付人数や貸付額の拡大を実施されたい。

(5) 専門分野における質の高い看護師の育成と処遇について

がん、糖尿病、脳卒中、急性心筋梗塞、救急医療等の看護に精通した専門看護師や認定看護師の活用は、本人のみでなく他の看護師の離職防止に繋がるとともに、専門性の高い安心で安全な看護の提供を行うためにも不可欠である。

よって、以下のことを実施されたい。

ア. 質の高い看護を提供し、看護職の定着を促進するために、専門看護師や認定看護師の育成を推進されたい。

イ. 診療報酬等で位置づけられた専門看護師や認定看護師の配置について、医療機関に対して指導されたい。

ウ. 職場での位置づけの明確化及び処遇の改善について、医療機関に対して指導されたい。

エ. 専門看護師や認定看護師の資格取得を希望する者に対する貸付制度等財政的支援を新設されたい。

(6) 准看護師制度について

准看護師の養成停止の明確化について、国に提言されたい。

また、その養成停止が実現するまでの間は、准看護師養成校の質を保つべき指導を徹底されたい。

2. 県内就業の促進と働き続けられる環境づくりについて

(1) 広報活動について

県内への就業を促進するため、県庁のホームページやマスコミ等で広報活動を強化されたい。

(2) 卒後研修等の更なる充実について

全ての新人看護職員が質の高い研修を受けられるよう、研修の質が担保される研修体制の整備や研修内容の充実が図れるとともに、継続的な卒後臨床研修が充実されるよう一層の財政的支援を実施されたい。

併せて、地域の中核病院が他の病院の新人看護職員等の研修を受け入れを行うことに対し、予算的な措置を講じられたい。

(3) 看護職のワーク・ライフ・バランスの推進について

看護の現場では、夜勤・交代制勤務の労働負荷に加えて時間外勤務が常態化しており、特に出産・育児期にある看護職においては、仕事と家庭の両立が困難となり、多くの看護職が離職している。その欠員を埋めるためにさらに多くの新規採用をしても、労働条件・環境改善等の立ち遅れにより、また離職が生じるといふ悪循環に陥っており、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた働き続けられる環境づくりが喫緊の課題である。

よって、以下の事項について実施されたい。

ア. ワーク・ライフ・バランスに基づいた柔軟な雇用形態の導入の推進

イ. 院内保育所や学童保育の設置や運営への助成を拡充し、整備を推進されたい。

ウ. 地域のニーズにあった保育所の運営や学童保育の設置について、関係機関への指導を強化されたい。

(4) 看護職の定着対策の強化について

看護職の定着対策は、様々な対策を重層的に実施することにより離職を防止することが重要である。よって、県は医療機関立入検査の際に、各医療機関の労働環境等を把握し、以下の項目を指導されたい。

ア. 産休・育児休業の代替要員の確保

イ. 労働時間、休暇の取得、不当な時間外勤務の有無等労働関係法令の順守状況

ウ. 夜勤回数、給与体系等看護職の労働環境の改善による定着対策の強化

エ. リエゾンナースや臨床心理士の配置による看護職のためのメンタルヘルス相談体制の充実

オ. 看護職の立場、考え方を病院経営に生かすために看護職の副院長制の導入の促進

(5) ナースセンター事業の充実強化について

看護職の再就業促進の充実強化を図るために、以下の事業にかかる委託料を増額されたい。

ア. 高額な報酬が必要となる民間の有料職業事業者を利用した看護職の確保を行わないために、ナースセンター事業における就業支援の充実強化を図るための人員の増員

イ. 潜在看護職を掘り起こしのために、新聞やマスコミ等を活用した広報活動の強化

ウ. 希望者の身近なところで再就業支援のための研修等が受講できるよう、地域の基幹病院における再就業支援の充実

エ. 県内の医療従事者の確保のための合同就職説明会の組織的な開催

II. 在宅医療・訪問看護の推進について

在宅療養を希望する患者が、住み慣れた自宅や地域で安心して、自分らしい生活ができるためには、訪問看護に携わる看護師等の増員及び質的向上が不可欠である。

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 千葉県訪問看護実践センター（仮称）の設置について

質の高い訪問看護サービスが安定的に提供できるよう、訪問看護ステーションの質的・量的確保をするために、訪問看護師の育成、訪問看護ステーションのネットワーク化、訪問看護にかかる周辺事務の集約化を行う拠点として整備されたい。

2. 訪問看護ステーションの安定的な経営への支援

(1) 訪問看護ステーションの効率的な運営を図るために、県内の訪問看護ステーションのサテライトの設置について推進されたい。

(2) 訪問看護ステーションの経営を安定させるために、訪問看護にかかる介護報酬や診療報酬等の引き上げについて、引き続き国に要望されたい。

3. 在宅療養支援システムの推進

在宅療養支援診療所の機能強化及び病院から在宅への移行を円滑に実施するため、看護職の退院調整者を

配置するよう、医療機関に指導されたい。

4. 在宅療養を推進する組織体制の充実強化

各疾患や対象者別の在宅療養を所管している現在の県庁内組織において、在宅療養を推進するために、組織体制を再編し充実強化されたい。

5. 在宅療養を推進するための家族支援の充実

在宅療養は、家族の協力なくして継続することが不可欠であり、家族を支援するためにもレスパイト等のサービスを充実強化されたい。

Ⅲ. 安全・安心な出産環境の確保について

産科医及び助産師の不足は依然と続いており、安全な妊娠・出産の環境を整備することが喫緊の課題となっている。このような状況の中で、妊娠・出産・産褥等の時期に助産師が専門性を発揮できるよう以下の事項について実施されたい。

1. 院内助産及び助産外来の開設に関する助成制度等の周知

院内助産及び助産外来に関する県内の状況や開設に係る助成制度等について、関係医療機関への周知を徹底されたい。

2. 院内助産及び助産外来に従事する助産師等への研修の実施

院内助産及び助産外来を担当する助産師の育成並びに専門的技術の向上を図るために、一定の経験を有する中堅以上の助産師を対象とした研修の実施に対する助成をされたい。

3. 新人助産師に対する研修の充実

全ての新人助産師が、ガイドラインにそった集合研修を含む研修が受講できるよう指導されたい。

Ⅳ. 保健師の資質の向上と新たな活動方策の確立について

県民の健康に対するニーズが高まる一方、虐待や自殺等多様化する健康問題等地域保健を取り巻く環境は大きく変化している。

県民の生活の場である地域を活動の拠点とする保健師は、分散配置が進む中でも連携を密にし、その地域の健康課題を解決することが求められている

よって、以下の事項について実施されたい。

1. 保健師の資質の向上について

行政においては、保健師の分散配置が進み、OJTによる現任教育が十分に機能されていない。また、保健所における広域的な業務検討・評価の機会が減少しており、保健師の現任教育を充実し、保健師の質的向上を図ることが必要である。

よって、以下の事項について、実施されたい。

(1) 新人保健師の研修体制の確立

(2) 保健師の各期に合わせた系統的な研修体制の整備

(3) 災害時における保健師活動の実践教育

(4) 保健所における教育機能の強化

(5) 分散されている保健師を統括する「統括保健師」を育成するとともに、各健康福祉センターや市町村

にその保健師の配置の推進

2. 質の高い保健指導のための体制整備について

効果的な保健指導を行うためには、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを連動させ、質の高い保健指導を行うことが求められている。

しかし、分散配置や業務分担が進む中で、保健指導支援体制や事業効果の評価体制等の整備が重要な課題となっている。

よって、質の高い保健指導を提供する体制の整備について検討されたい。

3. 保健師学生の臨地実習について

看護系大学では、看護基礎教育の中に保健師の養成教育を入れ込んだいわゆる統合カリキュラムによる教育が実施されているところが多い。千葉県でも看護系大学の増加により、地域保健実習の学生は増加傾向にある。

一方、地域保健の現場では公衆衛生業務の多様化・複雑化する中で保健師の分散配置が進み、保健師一人一人の役割も大きくなり、実習受入れが困難になってきており、保健師を希望する学生が十分に指導を受けることができないまま卒業してしまうという状況が生じている。

保健師を目指す学生が、優先して地域等で効果的な実習を体験できるための方策を検討されたい。

V. 医療安全対策の推進について

医療安全対策の推進は、県民に安全で質の高い看護を提供するうえでも、看護職の確保・定着にも大きな影響を与える。

よって、以下の項目について実施されたい。

1. 各医療機関における医療安全推進体制の強化

医療事故は様々な要因が関係しており、医療機関においては、職種や立場を超えた組織的な医療安全対策が必要であり、そのため、専従の医療安全管理者の配置を指導されたい。

2. 医療機関立入検査における指導の強化

医療機関では専門の部署を設置し、組織的に医療安全対策に取り組んでいるところが増加してきているが、全ての医療機関で医療安全対策が強化されるよう指導願いたい。

3. 医療安全対策への組織的な取組みのための助成

本協会が、医療従事者及び県民への医療安全の普及を目的として開催する「医療安全大会」や「医療安全管理者の育成」事業等を実施してきたが、医療に関する全ての関係者が重層的に医療安全対策を強化するための事業等への助成を願いたい。

平成23年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
日本看護協会	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県医療審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県社会福祉審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
看護のあり方に関する検討委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県立病院運営懇談会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県地域医療再生本部	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県女性の健康支援対策事業企画・評価委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県社会福祉協議会	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県民間病院協会	顧 問	会 長	松 永 敏 子
東金九十九里地域医療センター評価委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県糖尿病対策推進会議	役 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市地域保健医療協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県身体障害者福祉事業団	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県身体障害者福祉事業団	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉リハビリテーションセンター改革プラン検討会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県公衆衛生協会	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県周産期医療・保健協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉大学医学部附属病院有識者懇談会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉大学医学部附属病院診療情報苦情処理委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり推進会議	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県プライマリ・ケア研究会	顧 問	会 長	松 永 敏 子
千葉県地域ぐるみ福祉振興基金	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県学校保健学会	理 事	会 長	松 永 敏 子
ちば県民保健予防財団	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県母性衛生学会	理 事	会 長	松 永 敏 子
健康ちば地域・職域連携推進協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市保健医療事業団	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県小児救急電話相談事業協議会	評 議 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県男女共同参画推進懇話会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県男女共同参画推進連携会議	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県国民保護協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市青葉看護専門学校運営協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県介護予防市町村支援委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
雇用均等行政推進員・子育てしやすい職場づくり推進協力員	協 力 員	会 長	松 永 敏 子
柏市の訪問看護の今後を考える会	委 員	会 長	松 永 敏 子
ちばアクアラインマラソン実行委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉市地域保健医療協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県在宅医療推進連絡協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県歯・口腔保健審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
新世紀ちば健康プラン推進協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
健康ちば地域・職域連携推進協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県精神保健福祉協議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県歯・口腔保険審議会 歯科保険事業専門部会	委 員	会 長	松 永 敏 子
看護師の「雇用の質」向上に係る企画委員会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉がんシンポジウム	理 事	会 長	松 永 敏 子
医療福祉ネットワーク千葉	理 事	会 長	松 永 敏 子
千葉県周産期医療保健審議会	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議	委 員	会 長	松 永 敏 子
千葉プロモーション協議会	構 成 員	会 長	松 永 敏 子
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議	構 成 員	会 長	松 永 敏 子
認定看護管理者教育運営委員会	委 員	副 会 長	山 下 朱 實
千葉市地域保健医療協議会	委 員	副 会 長	山 下 朱 實
千葉市青葉看護専門学校運営協議会	委 員	副 会 長	山 下 朱 實
小児科、産科に係る医師確保対策検討部会	委 員	副 会 長	石 井 邦 子
助産師必要数に関する検討小委員会	委 員	副 会 長	石 井 邦 子
次世代育成支援対策を推進する千葉県民会議	委 員	専務理事	山 木 ま さ
健康ちば21 推進部会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
第二次千葉県地域福祉支援計画策定委員会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
介護支援専門員キャリアアップ検討会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉県女性の健康支援対策事業企画・評価委員会 実態調査・健康手帳作業部会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉市保健医療事業団	評 議 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉市病院運営委員会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉市保健医療事業団	評 議 員	専務理事	山 木 ま さ
鎌ヶ谷総合病院運営協議会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
家庭等における暴力対策ネットワーク実務者連絡会議	委 員	専務理事	山 木 ま さ
柏市の訪問看護の今後を考える会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉市健康づくり推進協議会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉県介護保険事業支援計画・老人保健福祉計画策定懇談会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
看護師の「雇用の質」向上に係る企画委員会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉県後期高齢者医療懇談会	委 員	専務理事	山 木 ま さ
千葉ヘルス財団	理 事	専務理事	山 木 ま さ
千葉県医療再生プログラムフォローアップ事業評価会議	委 員	専務理事	山 木 ま さ

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
千葉市医療安全相談窓口運営協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
認定看護師教育課程（乳がん看護）委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県福祉人材センター運営委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県男女共同参画推進連携会議産業部会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県救急災害医療連絡協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県アレルギー対策協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県医療的ケア運営会議	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県社会福祉協議会明るい社会づくり推進機構運営協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
介護保険関係団体協議会幹事会	幹 事	常任理事	佐 瀬 けい子
心のふれあいフェスティバル実行委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
脳卒中連携の会実行委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県がん患者大集合実行委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉市保健所運営協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
明るい長寿社会づくり推進機構運営協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県難病対策協議会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県国民保護協議会	幹 事	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉市防災会議	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
心の健康フェア実行委員会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
特定健診・特定保健指導に関する「人材育成」に携わる関係者会議	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉ヘルス財団企画委員会 在宅ケア部会	委 員	常任理事	佐 瀬 けい子
千葉県准看護師試験委員会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉県がん対策推進部会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉市介護保険運営協議会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉市あんしんケアセンター等協議会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉いのちの電話評議会	評 議 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉県糖尿病対策推進会議幹事会	幹 事	常任理事	藤 澤 里 子
千葉県小児救急電話相談事業協議会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
千葉県プライマリ・ケア研究会世話人会	委 員	常任理事	藤 澤 里 子
認定看護管理者教育運営委員会	委 員	理 事	渡 辺 尚 子
千葉地域リハビリテーション連絡協議会	委 員	理 事	許 斐 玲 子
学童期からの生活習慣病予防事業計画・評価委員会	委 員	理 事	藪 田 京 子
千葉県歯科保健医療協議会	委 員	理 事	藪 田 京 子
千葉県肝炎対策協議会	委 員	理 事	齊 藤 セツ子
木更津市男女共同参画推進委員会	委 員	理 事	齊 藤 セツ子

審 議 会 ・ 協 議 会 等 名 称	役職名	協会職	氏 名
千葉県学校保健学会	理 事	監 事	伊 藤 和 子
特定保健指導アウトソーシング検討委員会	委 員	監 事	伊 藤 和 子
千葉県介護支援専門員協議会	理 事	監 事	伊 藤 和 子
千葉県脳卒中リハビリテーション協議会	委 員	船橋地区部会 (谷津保健病院)	吉 井 芳 美
千葉県地域リハビリテーション協議会	委 員	船橋地区部会 (谷津保健病院)	吉 井 芳 美
千葉県共用地域医療連携パワークィンググループ (脳卒中部会)	委 員	千葉地区部会 (千葉県救急医療センター)	中 田 正 浩
千葉県認知症対策推進協議会	委 員	印旛地区部会 (聖隷佐倉市民病院)	窪 田 妙 子
千葉県障害児支援訪問看護センター研究会	委 員	船橋地区部会 (船橋中央病院)	開保津 貴 子
船橋市民とともに考える救急医療シンポジウム実行委員会	委 員	船 橋 地 区 部 会 長	西 方 恭 子
船橋市防災会議、船橋市国民保護協議会	委 員	船 橋 地 区 部 会 長	西 方 恭 子
市原市消防委員会、市原市国民保護協会	委 員	市原地区部会	志 村 淳 子
がん性疼痛認定看護師課程教員会	委 員	松戸地区部会 (松戸市立病院)	横 尾 と も 子
船橋市保健・医療・福祉問題懇談会	委 員	船橋地区部会 (船橋市立医療センター)	中 野 由 紀 子
船橋市地域密着型サービス運営委員会	委 員	みなみはま 訪問看護ステーション	高 橋 喜 美
鎌ヶ谷市保健・医療・福祉問題協議会	委 員	船橋地区部会 (初富保健病院)	小 島 英 子
千葉県介護支援専門員協議会	理 事	船橋地区部会(ヘルスマネジメントおおぞら)	野 田 美 保 子
千葉県介護支援専門員協議会	理 事		西 ケ イ 子
在宅がん緩和ケア専門委員会	委 員	ちば訪問看護 ST所長	権 平 く み 子
千葉県在宅医療推進連絡協議会	委 員	ちば訪問看護 ST所長	権 平 く み 子
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会	会 長	ちば訪問看護 ST所長	権 平 く み 子
千葉県がん診療連携協議会 在宅緩和ケア地域連携パス部会	委 員	ちば訪問看護 ST所長	権 平 く み 子
千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議	委 員	ちば訪問看護 ST所長	権 平 く み 子

(備考) 協会で直接受託したものを掲載した。

各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧

24. 3. 31

NO	行事名	主催者等	開催時期	開催場所
1	口腔保健週間	千葉県	6月	千葉県
2	愛の血液助け合い運動	千葉県	7月	千葉県
3	リレーフォーライフ千葉	同実行委員会	9月	八千代市
4	こころの日活動行事	日本精神科看護技術協会 千葉県支部	7月	千葉市
5	千葉県医療安全等技術向上支援事業「ハンズオンセミナー」	千葉医師研修支援ネットワーク	5月	千葉市
6	福祉のしごと就職フェア・inちば (1)	千葉県社会福祉協議会	7月	千葉市
7	第44回放射線部会学術集会	日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会放射線部会	2月	千葉市
8	東関東ストーマリハビリテーション講習会	同研究会	12月	木更津市
9	千葉県がん患者大集合2011	同実行委員会	9月	千葉市
10	千葉大学平成23年度看護学部公開講座	千葉大学看護学部	10月	千葉市
11	千葉県革新懇「7・2シンポジウム」	革新と正義のための 千葉県の会 (千葉県革新懇)	7月	千葉市
12	がん予防展・がん講演会	千葉県	9月	千葉市 習志野市
13	明日の動脈硬化予防を考えるシンポジウム	日本動脈硬化学会	11月	柏市
14	健康づくり栄養講座	千葉県栄養士会	10月	千葉市
15	鴨川感染症セミナー	亀田総合病院・ファイザー(株)	12月	鴨川市
16	第3回長生郡市地域医療フォーラム	長生郡広域市町村圏 組合管理者	11月	茂原市
17	千葉県栄養改善大会	同実行委員会	9月	千葉市
18	千葉県国民健康保険直営診療施設医療学会	千葉県国民健康保険 直営診療施設協会	11月	千葉市
19	第2回関東臨床工学会	関東臨床工学技師協議会	10月	千葉市
20	第22回腎臓病を考える会	NPO腎臓病協議会	10月	千葉市
21	在宅ケア研修会	千葉ヘルス財団	9月	千葉市
22	第9回市民のための糖尿病教室	日本糖尿病協会千葉県支部	11月	松戸市
23	小児救急市民公開フォーラム	日本小児科学会	11月	千葉市
24	福祉のしごと就職フェア・inちば (2)	千葉県社会福祉協議会	10月	千葉市
25	がんぼう千葉応援隊	千葉県	8月～	千葉県
26	訪問介護フォーラム2011	同実行委員会	10月	千葉市

27	千葉いのちの電話公開講演会	千葉いのちの電話	12月	木更津市
28	第25回ヘルシー船橋フェア	同実行委員会	1月	船橋市
29	第5回認知症メモリーウォーク	同実行委員会	10月 11月	銚子市 千葉市
30	歯科衛生士大会	千葉県歯科衛生士会	11月	千葉市
31	第23回世界産婦人科学会議2021	日本産科婦人科学会	2021年 10月頃	未定
32	福祉人材就職面接会～介護就職デー～	千葉公共職業安定所	11月	千葉市
33	千葉県口腔保健大会デンタルヘルスちば21	千葉県	11月	千葉市
34	第60回千葉県国民健康保険直営診療施設医療学会	千葉県国民健康保険 直営診療施設協会	11月	千葉市
35	第13回千葉県作業療法士学会	千葉県作業療法士会	3月	八千代市
36	第15回千葉県学校保健学会	同学会	12月	勝浦市
37	在宅がん緩和ケアフォーラム	千葉県	2月	千葉市
38	日本・ロシア小児がん交流シンポジウム千葉2011	同実行委員会	11月	千葉市
39	千葉いのちの電話公開講演会 (1)	千葉いのちの電話	12月	千葉市
40	千葉いのちの電話公開講演会 (2)	千葉いのちの電話	1月	千葉市
41	女性の健康週間市民公開講座	産婦人科医会千葉県支部	3月	千葉市
42	重度心身障害者(児)医療給付改善事業	障千連	10月	千葉県
43	ちばプロモーション協議会活動	同協議会	9月	千葉県
44	在宅高齢者に対する効果的な栄養・食事サービスの確保の確保に関する調査研究事業研修会	同事業委員会	1月	東京都
45	千葉市医師会市民公開講座	千葉市医師会	2月	千葉市
46	がんプロフェッショナル養成プラン市民公開講座	千葉市医師会	1月	千葉市
47	第1回千葉緩和医療学会学術集会	同学会	2月	松戸市
48	創立85周年記念 平成24年度通常総会及び第68回日本助産師学会	日本助産師会	5月 (H24)	浦安市
49	スミセイさわやか介護セミナー	千葉日报社	2月	千葉市
50	ちばアクアラインマラソン	同実行委員会	10月 (H24)	木更津市 袖ヶ浦市
51	第16回千葉県学校保健学会	同学会	12月 (H24)	千葉市
52	愛の血液助け合い運動	千葉県	7月 (H24)	千葉県
53	第5回千葉県糖尿病対策推進会議講習会	同推進会	1月	千葉市

名 誉 会 員

赤 井 つ る

浅 野 花 子

澁 谷 禎 子

大 野 律 子

平成23年度 役員・委員名簿

社団法人千葉県看護協会理事・監事名簿

平成23年6月1日現在

役名	職種	任期	氏名	所属
会長	保	1	松永敏子	千葉県看護協会
副会長	看	1	山下朱實	千葉県済生会習志野病院
副会長	助	2	石井邦子	千葉県立保健医療大学
専務理事	保	2	山木まさ	千葉県看護協会
常任理事	看	1	佐瀬けい子	千葉県看護協会
常任理事	看	1	藤澤里子	千葉県看護協会
(保)職能理事	保	2	寺島正子	千葉県立野田看護専門学校
(助)職能理事	助	2	橋野恭子	船橋市立医療センター
(看)職能理事	看	2	渡辺尚子	千葉県がんセンター
理事	看	1	嶋村有子	勝田台病院
理事	看	1	滝口容子	ケアプラザ四街道
理事	保	1	大木信子	国保匝瑳市民病院
理事	看	2	石井崇子	千葉県病院局経営管理課
理事	看	2	許斐玲子	東京歯科大学千葉病院
理事	助	2	齊藤セツ子	国保直営総合病院君津中央病院
理事	看	1	平山真理子	聖隷佐倉市民病院
理事	准	1	伊藤さよ子	総合病院国保旭中央病院
理事	看	2	山下紳子	慈恵柏看護専門学校
理事	保	2	福留浩子	鎌ヶ谷市役所健康増進課
監事	看	1	岩田玲子	在宅
監事		2	清水延郎	在宅
監事	保	2	伊藤和子	千葉県国民健康保険団体連合会

平成23年度 理事・監事事業分担表

事業名	委員会名等	担当理事・監事	常勤役員
組織運営	総会	山下朱實 石井邦子	山木まさ
	理事会・役員会		
	施設等会員代表者		
	将来構想検討委員会(特)		
	推薦委員会	———	
	会員増促進委員会	嶋村有子	
職能委員会活動	保健師職能委員会	寺島正子	山木まさ
	助産師職能委員会	橋野恭子	
	看護師職能委員会	渡辺尚子	
地区部会活動	千葉地区部会	許斐玲子	山木まさ (藤澤里子) (佐瀬けい子)
	市原地区部会	滝口容子	
	船橋地区部会	嶋村有子	
	市川地区部会	石井崇子	
	松戸地区部会	福留浩子	
	東葛地区部会	山下諄子	
	印旛地区部会	平山真理子	
	利根地区部会	大木信子	
	山武地区部会	———	
	長夷地区部会	———	
	君津地区部会	齊藤セツ子	
	安房地区部会		
	全県対応	伊藤さよ子	

事業名	委員会名等	担当理事・監事	常勤役員
政策・看護制度に関すること	看護制度委員会	———	山木まさ
保健知識の普及に関すること	———	福留浩子	藤澤里子
看護職の資質の向上に関すること	教育委員会 看護研究学会委員会	山下神子 石井崇子	
看護職の確保定着に関すること	社会経済福祉委員会 ナースセンター運営委員会(特)	平山真理子	佐瀬けい子
医療看護安全対策に関すること	医療安全推進委員会	齊藤セツ子	
災害救護対策に関すること	———	滝口容子	
広報に関すること	広報出版委員会	許斐玲子	
訪問看護に関すること	訪問看護委員会	大木信子	
ちば訪問看護ステーションに関すること	———	———	山木まさ
(社)日本看護協会関係	法 そ の 会 他	山下朱實 石井邦子	松永敏子
	全国職能委員長会	寺島正子 橋野恭子 渡辺尚子	山木まさ
国際交流	I C N 等	山下朱實	山木まさ
監査	財産・理事・職員の業務執行状況の監査	岩田玲子 清水延郎 伊藤和子	山木まさ

職 能 委 員 会

保健師職能委員会（7名）

氏 名	職 種	役 職	任 期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
寺 島 正 子	保	委員長	2	千葉県立野田看護専門学校	04-7121-0222	278-0031	野田市中根316-1
久保木 知 子	保	委 員	2	香取健康福祉センター	0478-52-9161	287-0001	香取市佐原口2127
加藤岡 知 子	保	委 員	2	君津健康福祉センター	0438-22-3744	292-0832	木更津市新田3-4-34
山 口 幸 恵	保	委 員	1	いすみ市役所大原庁舎	0470-62-1117	298-8501	いすみ市大原7400-1
浦 昌 子	保	委 員	2	松戸市中央保健福祉センター	047-366-7486	271-0072	松戸市竹ヶ花74-3
宇 崎 めぐみ	保	委 員	1	香取健康福祉センター	0478-52-9161	287-0001	香取市佐原口2127
島 村 美恵子	保	委 員	1	佐倉市健康管理センター	043-485-6711	285-0825	佐倉市江原台2-27

助産師職能委員会（7名）

氏 名	職 種	役 職	任 期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
橋 野 恭 子	助	委員長	2	船橋市立医療センター	047-438-3321	273-8588	船橋市金杉1-21-1
鈴 木 とく子	助	委 員	2	社会保険船橋中央病院	047-433-2111	273-8556	船橋市海神6-13-10
大和田 達 代	助	委 員	2	JFE健康保険組合川鉄千葉病院	043-261-5111	260-0842	千葉市中央区南町1-11-12
響 谷 順 子	助	委 員	2	東京歯科大学市川総合病院	047-322-0151	272-8513	市川市菅野5-11-13
林 ひろみ	助	委 員	2	千葉県立保健医療大学	043-296-2000	261-0014	千葉市美浜区若葉2-10-1
大 島 末 美	助	委 員	1	日本医科大学千葉北総病院	0476-99-1111	270-1694	印西市鎌苅1715
絵 木 とも子	助	委 員	1	医療法人鉄蕉会亀田総合病院	04-7092-2211	296-8602	鴨川市東町929

看護師職能委員会（9名）

氏 名	職 種	役 職	任 期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
渡 辺 尚 子	看	委員長	2	千葉県がんセンター	043-264-5431	260-8717	千葉市中央区仁戸名町666-2
若 菜 幸 子	看	委 員	1	千葉大学医学部附属病院	043-222-7171	260-8677	千葉市中央区玄鼻1-8-1
村 山 敦 子	看	委 員	2	国保多古中央病院	0479-76-2211	289-2241	香取郡多古町多古388-1
谷 本 美奈子	看	委 員	1	国保直営総合病院君津中央病院	0438-36-1071	292-8535	木更津市桜井1010
徳 重 敬 子	看	委 員	2	聖 隷 佐 倉 市 民 病 院	043-486-1151	285-8765	佐倉市江原台2-36-2
岩 船 久 子	看	委 員	2	千葉県済生会習志野病院	047-473-1281	275-8580	習志野市泉町1-1-1
長 島 恭 子	看	委 員	1	千葉県循環器病センター	0436-88-3111	290-0512	市原市鶴舞575
小 林 美 紀	准	委 員	2	医療法人社団保健会谷津保健病院	047-451-6000	275-0026	習志野市谷津4-6-16
渡 辺 ゆかり	看	委 員	1	東京慈恵会医科大学附属柏病院	04-7164-1111	277-8567	柏市柏下163-1

常 任 委 員 会

教育委員会 (9名)

氏 名	職種	役 職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
宮 本 祐 子	看	委員長	1	国 保 松 戸 市 立 病 院	047-363-2171	271-8511	松戸市上本郷4005
三 島 須 美 子	保	委 員	1	市 原 健 康 福 祉 セ ン タ ー	0436-21-6391	290-0056	市原市五井1309
佐 藤 ま ゆ み	看	委 員	1	千 葉 県 立 保 健 医 療 大 学	043-296-2000	261-0014	千葉市美浜区若葉2-10-1
牛 島 品 子	看	委 員	1	千 葉 医 療 セ ン タ ー 附 属 千 葉 看 護 学 校	043-251-6669	260-0042	千葉市中央区椿森4-2-1
石 野 恵 子	看	委 員	1	千 葉 大 学 医 学 部 附 属 病 院	043-222-7171	260-8677	千葉市中央区玄鼻1-8-1
菱 沼 直 美	看	委 員	1	千 葉 社 会 保 険 病 院	043-261-2211	260-8710	千葉市中央区仁戸名町682
安 田 友 恵	看	委 員	1	医 療 法 人 鉄 蕉 会 亀 田 総 合 病 院	04-7092-2211	296-8602	鴨川市東町929
佐 藤 弘 美	助	委 員	1	順 天 堂 大 学 医 学 部 附 属 浦 安 病 院	047-353-3111	279-0021	浦安市富岡2-1-1
栗 原 広 子	看	委 員	1	船 橋 整 形 外 科 病 院	047-425-5585	274-0822	船橋市飯山満1-833

看護研究学会委員会 (7名)

氏 名	職種	役 職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
梅 野 加 寿 枝	看	委員長	1	東 邦 大 学 医 療 セ ン タ ー 佐 倉 病 院	043-462-8811	285-8741	佐倉市下志津564-1
菅 谷 久 恵	看	委 員	1	初 富 保 健 病 院	047-442-0811	273-0121	鎌ヶ谷市初富114
上 田 貴 子	看	委 員	1	社 会 保 険 看 護 研 修 セ ン タ ー	047-495-7700	273-8566	船橋市海神町西1-1042-2
今 井 睦 子	保	委 員	1	三 育 学 院 大 学	0470-84-0111	298-0297	夷隅郡大多喜町久我原1500
服 部 恵 子	看	委 員	1	順 天 堂 大 学 医 療 看 護 学 部	047-355-3111	279-0023	浦安市高洲2-5-1
北 澤 和 子	看	委 員	1	千 葉 県 救 急 医 療 セ ン タ ー	043-279-2211	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-32-1
内 藤 静 代	看	委 員	1	東 京 歯 科 大 学 市 川 総 合 病 院	047-322-0151	272-8513	市川市菅野5-11-13

訪問看護委員会 (10名)

氏 名	職種	役 職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
樋 口 キ エ 子	看	委員長	1	順 天 堂 大 学 医 療 看 護 学 部	047-355-3111	279-0023	浦安市高洲2-5-1
辻 村 真 由 子	看	委 員	1	千 葉 県 立 保 健 医 療 大 学	043-296-2000	261-0014	千葉市美浜区若葉2-10-1
市 川 滋 子	保	委 員	1	千 葉 県 健 康 福 祉 部 保 険 指 導 課	043-223-2387	260-8667	千葉市中央区市場町1-1
中 村 久 実	看	委 員	1	国 立 が ん 研 究 セ ン タ ー 東 病 院	04-7133-1111	277-8577	柏市柏の葉6-5-1
横 山 の ぶ 子	看	委 員	1	玄 々 堂 君 津 病 院	0439-52-2366	299-1144	君津市東坂田4-7-20
権 平 く み 子	看	委 員	1	千 葉 県 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 連 絡 協 議 会	043-245-1744	261-0002	千葉市美浜区新港249-4
八 馬 弘 美	看	委 員	1	総 合 病 院 国 保 旭 中 央 病 院	0479-63-8111	289-2511	旭市イ1326
真 貝 和 江	看	委 員	1	は み ん ぐ 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	04-7134-2122	277-0825	柏市布施1-3
高 橋 喜 美	看	委 員	1	み な み は ま 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	047-431-6031	273-0004	船橋市南本町6-2
新 井 君 江	看	委 員	1	岬 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	0470-87-8715	299-4612	いすみ市岬町江場土1732

看護制度委員会（7名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
白石 央子	看	委員長	1	帝京大学ちば総合医療センター	0436-62-1211	299-0111	市原市姉崎3426-3
窪田 妙子	看	委員	1	聖隷佐倉市民病院	043-486-1151	285-8765	佐倉市江原台2-36-2
石田 智恵子	看	委員	1	社会保険船橋中央病院	047-433-2111	273-8556	船橋市海神6-13-10
島尻 史子	看	委員	1	順天堂大学医学部附属浦安病院	047-353-3111	279-0021	浦安市富岡2-1-1
清水 博和	看	委員	1	千葉県救急医療センター	043-279-2211	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-32-1
阿部 恭子	看	委員	1	千葉県立保健医療大学	043-296-2000	261-0014	千葉市美浜区若葉2-10-1
関本 翌子	看	委員	1	国立がん研究センター東病院	04-7133-1111	277-8577	柏市柏の葉6-5-1

広報出版委員会（8名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
関口 和宏	看	委員長	1	千葉県済生会習志野病院	047-473-1281	275-8580	習志野市泉町1-1-1
大越 真絵	看	委員	1	袖ヶ浦さつき台病院	0438-62-1113	299-0246	袖ヶ浦市長浦駅前5-21
河野 鈴子	助	委員	1	千葉大学医学部附属病院	043-222-7171	260-8677	千葉市中央区亥鼻1-8-1
赤間 由美子	看	委員	1	成田赤十字病院	0476-22-2311	286-8523	成田市飯田町90-1
山田 明美	看	委員	1	千葉市立海浜病院	043-277-7711	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-31-1
小高 久枝	看	委員	1	千葉県がんセンター	043-264-5431	260-8717	千葉市中央区仁戸名町666-2
林 信子	看	委員	1	東京歯科大学市川総合病院	047-322-0151	272-8513	市川市菅野5-11-13
中村 智美	看	委員	1	千葉市立青葉病院	043-227-1131	260-0852	千葉市中央区青葉町1273-2

推薦委員会（7名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
小賀坂 好子	保	委員長	1	帝京大学ちば総合医療センター	0436-62-1211	299-0111	市原市姉崎3426-3
平林 君枝	看	委員	1	JFE健康保険組合川鉄千葉病院	043-261-5111	260-0842	千葉市中央区南町1-11-12
大澤 豊子	保	委員	1	市原健康福祉センター	0436-21-6391	290-0056	市原市五井1309
伊能 光子	看	委員	1	千葉県立佐原病院	0478-54-1231	287-0003	香取市佐原イ2285
菊地 真知子	看	委員	1	谷津保健病院	047-451-6000	275-0026	習志野市谷津4-6-16
山崎 浩子	看	委員	1	新松戸中央総合病院	047-345-1111	270-0034	松戸市新松戸1-380
窪田 喜代美	助	委員	1	国保松戸市立病院	047-363-2171	271-8511	松戸市上本郷4005

社会経済福祉委員会（8名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
福 森 明 美	看	委員長	1	総合病院国保旭中央病院	0479-63-8111	289-2511	旭市イ1326
安 西 裕 子	看	委員	1	千葉市立海浜病院	043-277-7711	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-31-1
入 江 昭 子	看	委員	1	帝京大学ちば総合医療センター	0436-62-1211	299-0111	市原市姉崎3426-3
藤 部 なおみ	看	委員	1	千葉大学医学部附属病院	043-222-7171	260-8677	千葉市中央区亥鼻1-8-1
横 山 靖 子	看	委員	1	東京慈恵会医科大学附属柏病院	04-7164-1111	277-8567	柏市柏下163-1
越 坂 寿 子	看	委員	1	茂 原 中 央 病 院	0475-24-1191	297-0035	茂原市下永吉796
森 田 陽 子	看	委員	1	国保直営総合病院君津中央病院	0438-36-1071	292-8535	木更津市桜井1010
川 名 千 春	保	委員	1	千葉県健康福祉部医療整備課 医師・看護師確保推進室	043-223-3885	260-8667	千葉市中央区市場町1-1

会員増促進委員会（8名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
本 間 喜代美	看	委員長	1	社会保険看護研修センター	047-433-2111	273-8566	船橋市海神町西1-1042-2
志 村 照 子	看	委員	1	中 沢 病 院	0476-94-1111	286-0222	富里市中沢1596-5
高 梨 葉 子	保	委員	1	安房健康福祉センター	0470-22-4511	294-0045	館山市北条1093-1
大 塚 桂 子	看	委員	1	下総精神医療センター	043-291-1221	266-0007	千葉市緑区辺田町578
高 須 登始子	准	委員	1	千 葉 東 病 院	043-261-5171	260-8712	千葉市中央区仁戸名町873
暖 水 紀美子	看	委員	1	柏 戸 病 院	043-227-8366	260-8656	千葉市中央区長洲2-21-8
嶋 添 深 幸	看	委員	1	化学療法研究所附属病院	047-375-1111	272-0827	市川市国府台6-1-14
工 藤 ふみえ	助	委員	1	公 立 長 生 病 院	0475-34-2121	299-4192	茂原市本納2777

医療安全推進委員会（8名）

氏名	職種	役職	任期	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
高 澤 弘 美	看	委員長	1	千 葉 労 災 病 院	0436-74-1111	290-0003	市原市辰巳台東2-16
小 林 美智子	看	委員	1	東邦大学医療センター佐倉病院	043-462-8811	285-8741	佐倉市下志津564-1
佐 藤 裕美子	看	委員	1	新松戸中央総合病院	047-345-1111	270-0034	松戸市新松戸1-380
八 島 栄 子	看	委員	1	千葉県がんセンター	043-264-5431	260-8717	千葉市中央区仁戸名町666-2
原 洋 子	看	委員	1	JFE健康保険組合川鉄千葉病院	043-261-5111	260-0842	千葉市中央区南町1-11-12
柴 田 恵 子	看	委員	1	東京女子医科大学附属 八千代医療センター	047-450-6000	276-8524	八千代市大和田新田477-96
矢 野 綾 子	看	委員	1	日本医科大学千葉北総病院	0476-99-1111	270-1694	印西市鎌苅1715
飯 田 京 子	看	委員	1	千葉市立青葉病院	043-227-1131	260-0852	千葉市中央区青葉町1273-2

特別委員会

定款細則等委員会（6名）

氏名	所属
山下 朱 實	千葉県済生会習志野病院
石井 邦 子	千葉県立保健医療大学
山木 ま さ	千葉県看護協会
寺島 正 子	千葉県立野田看護専門学校
橋野 恭 子	船橋市立医療センター
渡辺 尚 子	千葉県がんセンター

表彰委員会（5名）

氏名	所属
山下 朱 實	千葉県済生会習志野病院
山木 ま さ	千葉県看護協会
寺島 正 子	千葉県立野田看護専門学校
橋野 恭 子	船橋市立医療センター
渡辺 尚 子	千葉県がんセンター

認定看護管理者制度教育課程運営委員会（9名）

氏名	所属
酒井 郁 子	千葉大学大学院看護学研究科
青木 きよ子	順天堂大学医療看護学部
吉田 千 文	千葉県立保健医療大学健康科学部
石渡 祥 子	成田赤十字病院
濱野 孝 子	東京歯科大学市川総合病院
拜原 優 子	東邦大学佐倉看護専門学校
大矢 智 子	千葉県健康福祉部医療整備課 医師・看護師確保推進室
藤澤 里 子	千葉県看護協会
二瓶 律 子	千葉県看護協会

千葉県ナースセンター運営委員会（12名）

氏名	所属
井上 雄 元	千葉県医師会
鈴木 紀 彰	国保直営総合病院君津中央病院
清水 喜久江	医療法人鎗田病院
権平 くみ子	千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
石井 邦 子	千葉県立保健医療大学
久部 洋 子	国立病院機構千葉医療センター 附属千葉看護学校
白井 隆 雄	千葉県健康福祉部医療整備課 医師・看護師確保推進室
上市 善 章	千葉県教育庁教育振興部 指導課教育課程室
石橋 生 夫	千葉労働局職業安定課
松永 敏 子	千葉県看護協会
平山 眞理子	聖隷佐倉市民病院
前田 富士子	東邦大学医療センター佐倉病院

千葉県看護師等就業協力員部会（15名）

氏名	所属
伊部 幸 子	千葉県救急医療センター
高野 友 子	千葉労災病院
西方 恭 子	津田沼中央総合病院
園田 満 子	東京歯科大学市川総合病院
根本 由美子	新 東 京 病 院
五十嵐 里 香	千葉・柏たなか病院
前田 富士子	東邦大学医療センター佐倉病院
山岸 聡 子	千葉県立佐原病院
伊藤 幸 子	さんむ医療センター
藤枝 純 子	君 塚 病 院
三好 博 子	木 更 津 看 護 学 院
佐久間 祥 子	なのはな訪問看護ステーション
宮内 千 尋	千葉県商工労働部 雇用労働課労働政策室
白井 隆 雄	千葉県健康福祉部医療整備課 医師・看護師確保推進室
佐瀬 けい子	千葉県看護協会

地区部会役員

地区部会 役員名	千葉県						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	伊 部 幸 子	千葉県救急医療センター	043-279-2211	261-0012	千葉市美浜区磯辺3-32-1
副地区部会長	1	看	平 松 悦 子	みつわ台総合病院	043-251-3030	264-0021	千葉市若葉区若松町531-486
	2	看	中 島 恵美子	総 泉 病 院	043-237-5001	265-0073	千葉市若葉区更科町2592
書 記	2	看	深 澤 順 子	井 上 記 念 病 院	043-245-8800	260-0027	千葉市中央区新田町1-16
会 計	1	看	石 坂 直 枝	斎 藤 労 災 病 院	043-227-7437	260-0005	千葉市中央区道場南1-12-7
教 育 幹 事	1	看	清 水 郭 子	千葉脳神経外科病院	043-250-1228	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町408
	2	看	大 谷 眞千子	千葉県立保健医療大学	043-296-2000	261-0014	千葉市美浜区若葉2-10-1
行 事 幹 事	1	看	後 藤 久美子	東京歯科大学千葉病院	043-270-3900	261-8502	千葉市美浜区真砂1-2-2
	2	看	門 脇 真 弓	重症心身障害児施設 千葉市桜木園	043-231-5865	264-0028	千葉市若葉区桜木8-31-15

地区部会 役員名	市 原						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	高 野 友 子	千葉労災病院	0436-74-1111	290-0003	市原市辰巳台東2-16
副地区部会長	2	看	亀 田 日出子	千葉県循環器病センター	0436-88-3111	290-0512	市原市鶴舞575
書 記	2	看	井 上 千 鶴	帝京大学ちば総合医療センター	0436-62-1211	299-0111	市原市姉崎3426-3
会 計	2	看	荒 井 知栄子	市原看護専門学校	0436-41-7065	290-0062	市原市八幡1050
教 育 幹 事	2	看	石 田 るり子	千葉県立鶴舞看護専門学校	0436-88-3660	290-0512	市原市鶴舞565
	1	看	前 田 幸 子	鎗 田 病 院	0436-21-1655	290-0056	市原市五井899
行 事 幹 事	2	看	青 木 都	千葉労災看護専門学校	0436-75-0542	290-0003	市原市辰巳台東2-16
	1	保	竹 内 理 恵	市原市保健センター	0436-23-1187	290-8502	市原市更級5-1-27

地区部会 役員名	船 橋						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	看	西 方 恭 子	津田沼中央総合病院	047-476-5111	275-0026	習志野市谷津1-9-17
副地区部会長	1	看	金 田 ひとみ	千葉県済生会習志野病院	047-473-1281	275-8580	習志野市泉町1-1-1
書 記	2	保	秋 山 恵 子	習志野健康福祉センター	047-475-5153	275-0012	習志野市本大久保5-7-14
会 計	2	看	松 平 信 子	東京女子医科大学附属 八千代医療センター	047-450-6000	276-8524	八千代市大和田新田477-96
教 育 幹 事	2	看	中 村 明 子	船橋市立看護専門学校	047-430-1115	273-0853	船橋市金杉1-28-7
	2	看	内 匠 伊佐子	船橋市立医療センター	047-438-3321	273-8588	船橋市金杉1-21-1
行 事 幹 事	2	看	郷 原 元 子	新 八 千 代 病 院	047-488-3251	276-0015	八千代市米本2167
	1	看	滝 口 恵 子	社会保険船橋中央病院	047-433-2111	273-8556	船橋市海神6-13-10

地区部会 役員名	市 川						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	園 田 満 子	東京歯科大学市川総合病院	047-322-0151	272-8513	市川市菅野5-11-13
副地区部会長	2	看	渡 邊 一 枝	順天堂大学医学部附属浦安病院	047-353-3111	279-0021	浦安市富岡2-1-1
書 記	2	看	寄 本 洋 子	一 条 会 病 院	047-372-5111	272-0836	市川市北国分4-26-1
会 計	2	看	近 江 綾 子	国立国際医療研究センター 国 府 台 病 院	047-372-3501	272-8516	市川市国府台1-7-1
教 育 幹 事	2	看	岡 本 哲	市川市リハビリテーション病院	047-320-7111	272-0802	市川市柏井町4-229-4
	2	看	田 村 立 子	化学療法研究所附属病院	047-375-1111	272-0827	市川市国府台6-1-14
行 事 幹 事	2	看	山 田 京 子	日 下 部 病 院	047-378-0011	272-0023	市川市南八幡3-6-13
	2	看	濱 本 光 世	行 徳 総 合 病 院	047-395-1151	272-0133	市川市行徳駅前1-12-6

地区部会 役員名	松 戸						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	看	根 本 由美子	新 東 京 病 院	047-366-7000	271-0077	松戸市根本473-1
副地区部会長	1	看	鈴 木 眞奈美	新東京病院松飛台	047-384-3111	270-2215	松戸市串崎南町27
書 記	1	看	田 中 久美子	新 東 京 病 院	047-366-7000	271-0077	松戸市根本473-1
会 計	2	看	川 井 弘 子	松戸市立福祉医療センター 東 松 戸 病 院	047-391-5500	270-2222	松戸市高塚新田123-13
教 育 幹 事	1	看	佐々木 悦 子	千 葉 西 総 合 病 院	047-384-8111	270-2251	松戸市金ヶ作107-1
	2	看	小 林 美智子	松 戸 整 形 外 科 病 院	047-344-3171	271-0043	松戸市旭町1-161
行 事 幹 事	1	看	遠 藤 優 子	東葛クリニック病院	047-364-5121	271-0067	松戸市樋野口865-2
	2	看	平 野 由紀子	松戸ニッセイエデンの園	047-330-8270	270-2298	松戸市高塚新田123-1

地区部会 役員名	東 葛						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	看	五十嵐 里 香	千葉・柏たなか病院	04-7131-4131	277-0871	柏市若柴110
副地区部会長	2	看	小 谷 美千子	柏 市 立 柏 病 院	04-7134-2000	277-0825	柏市布施1-3
書 記	1	看	西 村 三世子	野 田 病 院	04-7127-3200	270-0237	野田市中里1554-1
会 計	2	保	続 木 田鶴子	流山市保健センター	04-7154-0331	270-0121	流山市西初石4-1433-1
教 育 幹 事	1	看	菱 沼 蘭 姫	ナーシングプラザ流山	04-7145-0111	270-0144	流山市前ヶ崎248-1
	2	看	根 本 明 美	慈恵柏看護専門学校	04-7167-9670	277-0004	柏市柏下163-1
行 事 幹 事	1	看	磯 岡 チズ子	介護老人保健施設エスパーロ	04-7189-1112	270-1101	我孫子市布佐834-28
	2	看	濱 石 ミチ子	おおたかの森病院	04-7141-1117	277-0863	柏市豊四季113

地区部会 役員名	印 旛						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	助	前 田 富士子	東邦大学医療センター佐倉病院	043-462-8811	285-8741	佐倉市下志津564-1
副地区部会長	1	看	平 山 眞理子	聖隷佐倉市民病院	043-486-1151	285-8765	佐倉市江原台2-36-2
書 記	2	看	伊 藤 恵美	佐 倉 厚 生 園	043-484-2161	285-0025	佐倉市鑄木320
会 計	1	看	木 幡 裕未子	八 街 総 合 病 院	043-443-7311	289-1115	八街市八街ほ137-1
教育幹事	1	看	相 原 栄子	成 田 赤 十 字 病 院	0476-22-2311	286-8523	成田市飯田町90-1
	2	看	近 藤 才子	下 志 津 病 院	043-422-2511	284-0003	四街道市鹿渡934-5
行事幹事	1	看	藤 岡 久 恵	日本医科大学千葉北総病院	0476-99-1111	270-1694	印西市鎌苅1715
	1	保	古 川 恭 子	印旛健康福祉センター	043-483-1134	285-8520	佐倉市鑄木仲田町8-1

地区部会 役員名	利 根						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	山 岸 聡子	千葉県立佐原病院	0478-54-1231	287-0003	香取市佐原イ2285
副地区部会長	2	看	加 藤 早 苗	島 田 総 合 病 院	0479-22-5401	288-0053	銚子市東町5-3
書 記	2	看	豊 田 栄子	国保小見川総合病院	0478-82-3161	289-0332	香取市南原地新田438
会 計	2	看	鈴 木 玉子	佐 原 中 央 病 院	0478-55-1113	287-0001	香取市佐原口2121-1
教育幹事	2	看	鈴 木 美喜子	総合病院 国保旭中央病院	0479-63-8111	289-2511	旭市イ1326
	2	看	飯 笹 和子	国 保 東 庄 病 院	0478-86-1177	289-0612	香取郡東庄町石出2692-15
行事幹事	2	保	塚 本 清 江	香取健康福祉センター	0478-52-9161	287-0001	香取市佐原口2127
	2	看	小 山 きよ子	国保多古中央病院	0479-76-2211	289-2241	香取郡多古町多古388-1

地区部会 役員名	山 武						
	任期	職種	氏 名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	看	伊 藤 幸子	さんむ医療センター	0475-82-2521	289-1326	山武市成東167
副地区部会長	1	看	小 関 辰 美	東 陽 病 院	0479-84-1335	289-1727	山武郡横芝光町宮川12100
書 記	2	保	土 屋 裕子	横 芝 光 町 役 場	0479-80-1262	289-1732	山武郡横芝光町栗山1076
会 計	1	看	前 田 稔	千葉県立東金病院	0475-54-1531	283-8588	東金市台方1229
教育幹事	2	保	吉 水 雅子	山武健康福祉センター	0475-54-0611	283-0802	東金市東金907-1
	1	看	関 川 京子	国 保 大 網 病 院	0475-72-1121	299-3221	山武郡大網白里町富田884-1
行事幹事	2	看	長 嶺 正 光	浅 井 病 院	0475-58-5000	283-8650	東金市家徳38-1
	2	看	高知尾 好美	九 十 九 里 病 院	0475-76-8282	283-0104	山武郡九十九里町片貝2700

地区部会 役員名	長 夷						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	藤 枝 純 子	君 塚 病 院	0475-25-1811	297-0029	茂原市高師2-8
副地区部会長	1	看	鈴 木 三 千 子	大 多 喜 病 院	0470-82-2711	298-0223	夷隅郡大多喜町上原786
書 記	2	看	鈴 木 真 由 美	い す み 医 療 セ ン タ ー	0470-86-2311	298-0123	い す み 市 苜 谷 1177
会 計	2	看	平 野 す み 代	鈴 木 神 經 科 病 院	0475-22-2211	297-0029	茂原市高師82
教 育 幹 事	2	看	秋 葉 泰 子	公 立 長 生 病 院	0475-34-2121	299-4192	茂原市本納2777
	2	保	岡 澤 美 知	睦 沢 の 里	0475-43-1222	299-4423	長生郡睦沢町大上1150
行 事 幹 事	1	看	加 藤 典 子	睦 沢 町 役 場	0475-44-2504	299-4492	長生郡睦沢町下之郷1650-1
	2	看	倉 津 与 之 美	穴 倉 病 院	0475-24-2171	297-0029	茂原市高師687

地区部会 役員名	君 津						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	1	看	三 好 博 子	木 更 津 看 護 学 院	0438-23-9361	292-0832	木更津市新田3-4-30
副地区部会長	1	看	遠 山 美 智 子	国 保 君 津 中 央 病 院	0438-36-1071	292-8535	木更津市桜井1010
書 記	1	看	村 田 泉	君 津 中 央 病 院 大 佐 和 分 院	0439-65-1251	293-0036	富津市千種新田710
会 計	2	看	加 藤 久 美 子	玄 々 堂 君 津 病 院	0439-52-2366	299-1144	君津市東坂田4-7-20
教 育 幹 事	2	看	佐 久 間 香 織	東 病 院	0439-87-0165	293-0001	富津市大堀2114
	1	看	北 村 達 子	袖 ヶ 浦 さ つ き 台 病 院	0438-62-1113	299-0246	袖ヶ浦市長浦駅前5-21
行 事 幹 事	1	保	長 谷 川 え み 子	君 津 健 康 福 祉 セ ン タ ー	0438-22-3744	292-0832	木更津市新田3-4-34
	1	看	山 元 良 子	木 更 津 東 邦 病 院	0438-98-8111	292-0036	木更津市菅生725-1

地区部会 役員名	安 房						
	任期	職種	氏名	所 属	電 話	郵便番号	所 在 地
地区部会長	2	看	佐 久 間 祥 子	な の は な 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	0470-24-3113	294-0034	館山市沼1604-4
副地区部会長	2	助	丸 山 祝 子	亀 田 総 合 病 院	04-7092-2211	296-8602	鴨川市東町929
書 記	2	看	本 橋 則 子	館 山 病 院	0470-22-1122	294-0037	館山市長須賀196
会 計	1	看	判 澤 優 美 子	田 村 病 院	0470-22-1370	294-0036	館山市館山183
教 育 幹 事	2	保	青 木 啓 子	安 房 健 康 福 祉 セ ン タ ー	0470-22-4511	294-0045	館山市北条1093-1
	2	看	山 崎 美 佐 子	亀 田 医 療 技 術 専 門 学 校	04-7099-1205	296-0041	鴨川市東町1343-2
行 事 幹 事	1	看	鈴 木 美 千 代	東 条 病 院	04-7092-1207	296-0044	鴨川市広場1615
	2	看	小 粒 佳 子	東 条 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	04-7093-5438	296-0044	鴨川市広場1665

平成23年度 地区・職能別入会状況・入会率

	保健師			助産師			看護師			准看護師			合計		
	※1就業数	※2入会数	※3入会率	就業数	入会数	入会率	就業数	入会数	入会率	就業数	入会数	入会率	就業数	入会数	入会率
千葉	317	88	27.8%	256	148	57.8%	6,904	4,466	64.7%	1,488	195	13.1%	8,965	4,897	54.6%
市原	88	79	89.8%	52	31	59.6%	1,585	1,076	67.9%	518	80	15.4%	2,243	1,266	56.4%
船橋	286	91	31.8%	254	142	55.9%	5,075	2,812	55.4%	1,564	154	9.8%	7,179	3,199	44.6%
市川	135	4	3.0%	98	61	62.2%	2,797	1,800	64.4%	590	76	12.9%	3,620	1,941	53.6%
松戸	100	19	19.0%	97	69	71.1%	2,151	1,153	53.6%	694	95	13.7%	3,042	1,336	43.9%
東葛	182	65	35.7%	82	37	45.1%	4,143	2,274	54.9%	1,596	217	13.6%	6,003	2,593	43.2%
印旛	207	42	20.3%	110	63	57.3%	3,843	2,431	63.3%	1,216	129	10.6%	5,376	2,665	49.6%
利根	116	26	22.4%	50	42	84.0%	1,775	1,251	70.5%	951	127	13.4%	2,892	1,446	50.0%
山武	72	37	51.4%	12	4	33.3%	635	308	48.5%	449	38	8.5%	1,168	387	33.1%
長夷	114	16	14.0%	26	17	65.4%	794	426	53.7%	909	182	20.0%	1,843	641	34.8%
君津	100	25	25.0%	39	26	66.7%	1,544	1,102	71.4%	1,022	190	18.6%	2,705	1,343	49.6%
安房	103	47	45.6%	45	32	71.1%	1,306	810	62.0%	637	127	19.9%	2,091	1,016	48.6%
総計	1,820	539	29.6%	1,121	672	59.9%	32,552	19,909	61.2%	11,634	1,610	13.8%	47,127	22,730	48.2%

- ※1 就業者数は平成22年12月31日現在
- ※2 入会数は平成24年3月31日現在
- ※3 入会率は就業数に対する入会者の割合

年度別会員数

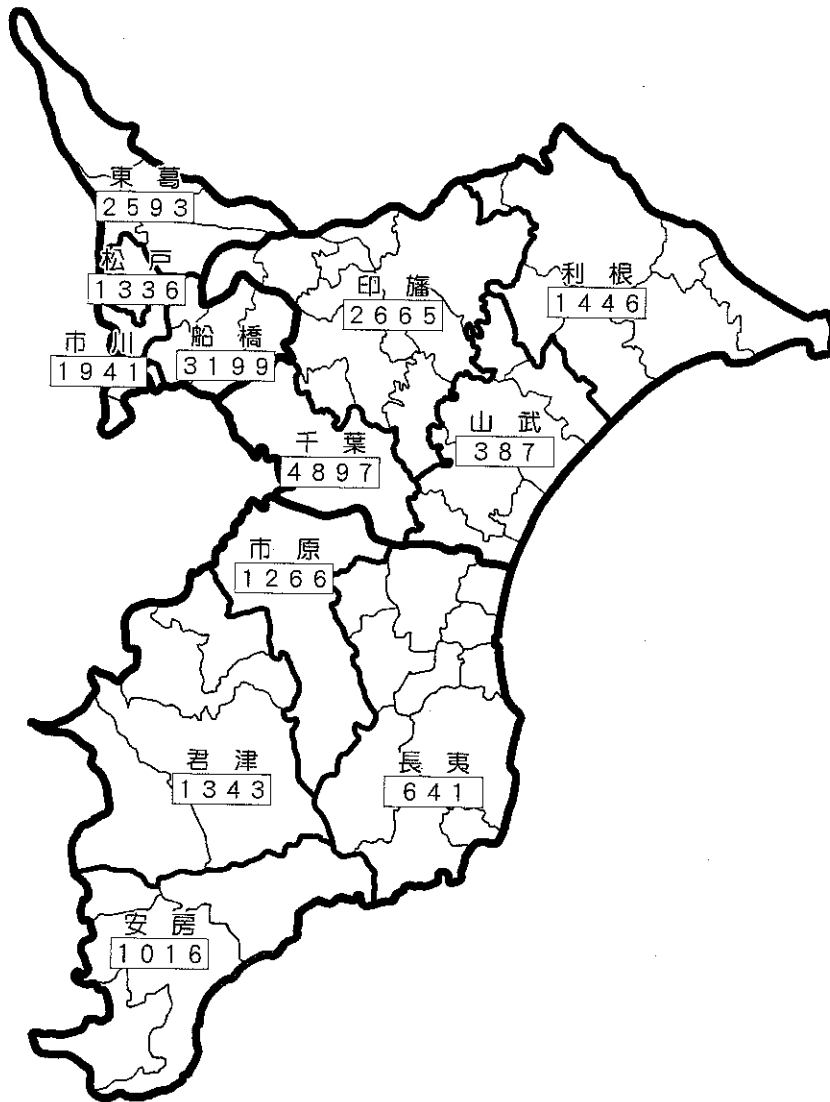
平成24年3月31日現在

年度	会員総数	保健師		助産師	看護師		准看護師		新入会員
		女	男		女	男	女	男	
昭和57年	4,647								
58	5,788	504		193	3,766		1,325		1,170
59	6,169	471		212	4,172		1,314		1,287
60	6,446	504		235	4,378		1,329		1,174
61	6,752	517		238	4,632		1,365		1,106
62	7,219	538		285	4,920		1,476		1,146
63	8,002	561		313	5,585		1,543		1,527
平成元年	8,393	554		331	5,959		1,549		1,403
2	8,533	566		355	6,144		1,468		1,250
3	8,782	591		376	6,381		1,434		1,320
4	9,196	610		387	6,730		1,469		1,518
5	9,777	635		414	7,305		1,423		1,608
6	10,632	665		451	8,063	131	1,453	31	1,869
7	11,473	670		478	8,818	135	1,507	30	1,832
8	12,268	685		501	9,493	151	1,589	32	1,803
9	13,126	711	1	514	10,269	173	1,632	33	1,911
10	14,044	732	2	521	11,157	192	1,634	32	1,980
11	14,643	743	4	517	11,800	210	1,583	35	2,006
12	15,190	701	5	530	12,114	249	1,558	33	2,001
13	15,990	669	4	547	12,785	280	1,659	46	2,000
14	16,748	657	4	544	13,331	345	1,814	53	1,591
15	17,816	655	6	561	14,221	441	1,882	50	2,457
16	18,924	664	10	591	15,059	507	2,025	68	2,677
17	19,388	649	11	604	15,557	577	1,926	64	2,232
18	19,467	613	14	584	15,727	636	1,819	74	2,052
19	20,173	619	20	635	16,404	687	1,730	78	2,307
20	20,790	593	23	660	16,916	801	1,729	68	2,495
21	21,446	552	27	628	17,510	933	1,728	68	2,438
22	22,075	528	33	648	18,123	1,064	1,606	73	2,386
23	22,730	513	26	672	18,701	1,208	1,546	64	2,437

(注) 昭和57年は年度途中の設立のため詳細不明
 平成21年度は他県より入会の65名を含む
 平成22年度は他県より入会の60名を含む
 平成23年度は他県より入会の98名を含む

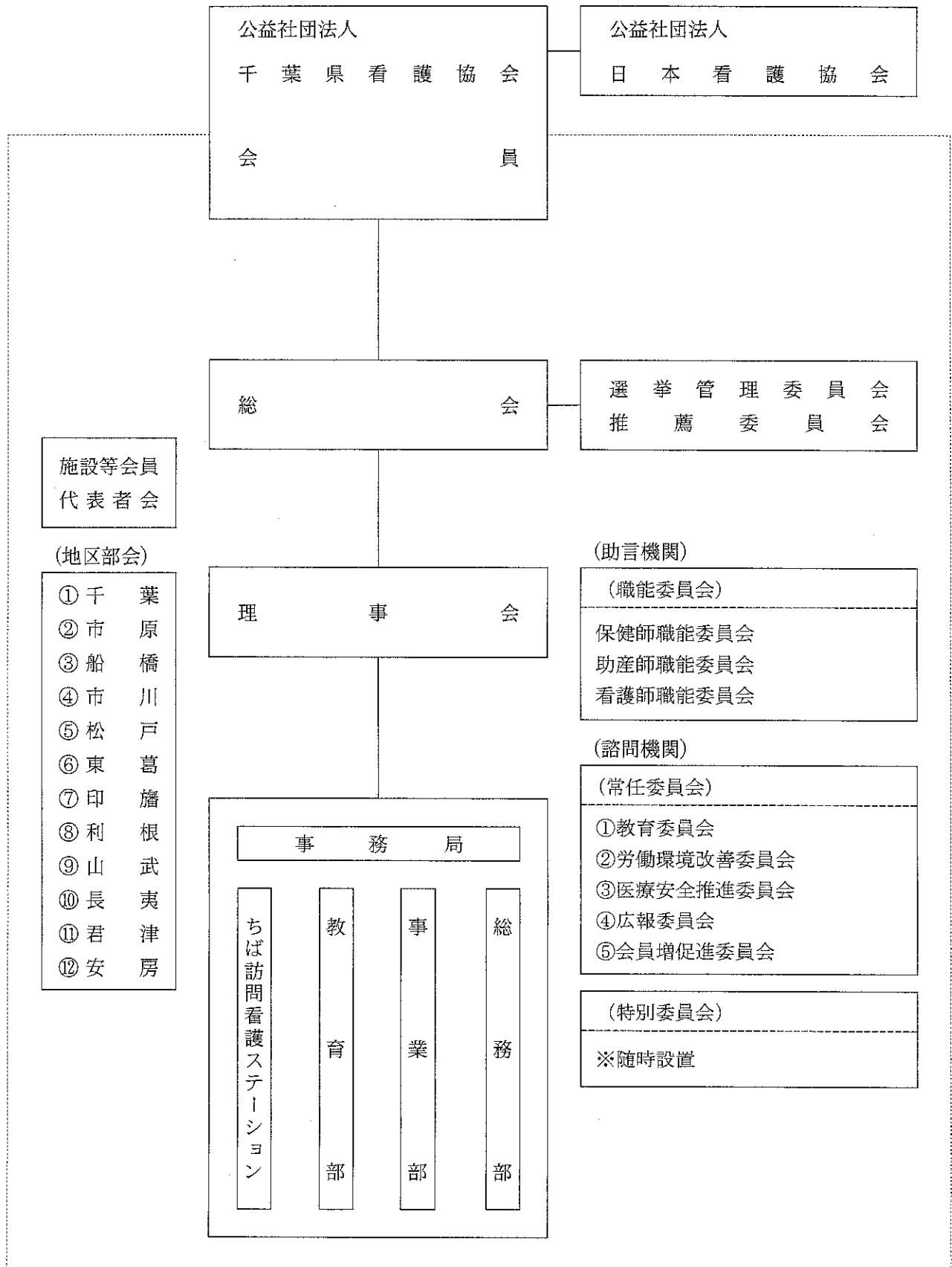
地区部会区分図

※数字は各地区部会の会員数 22,730名 (H24. 3. 31 現在)



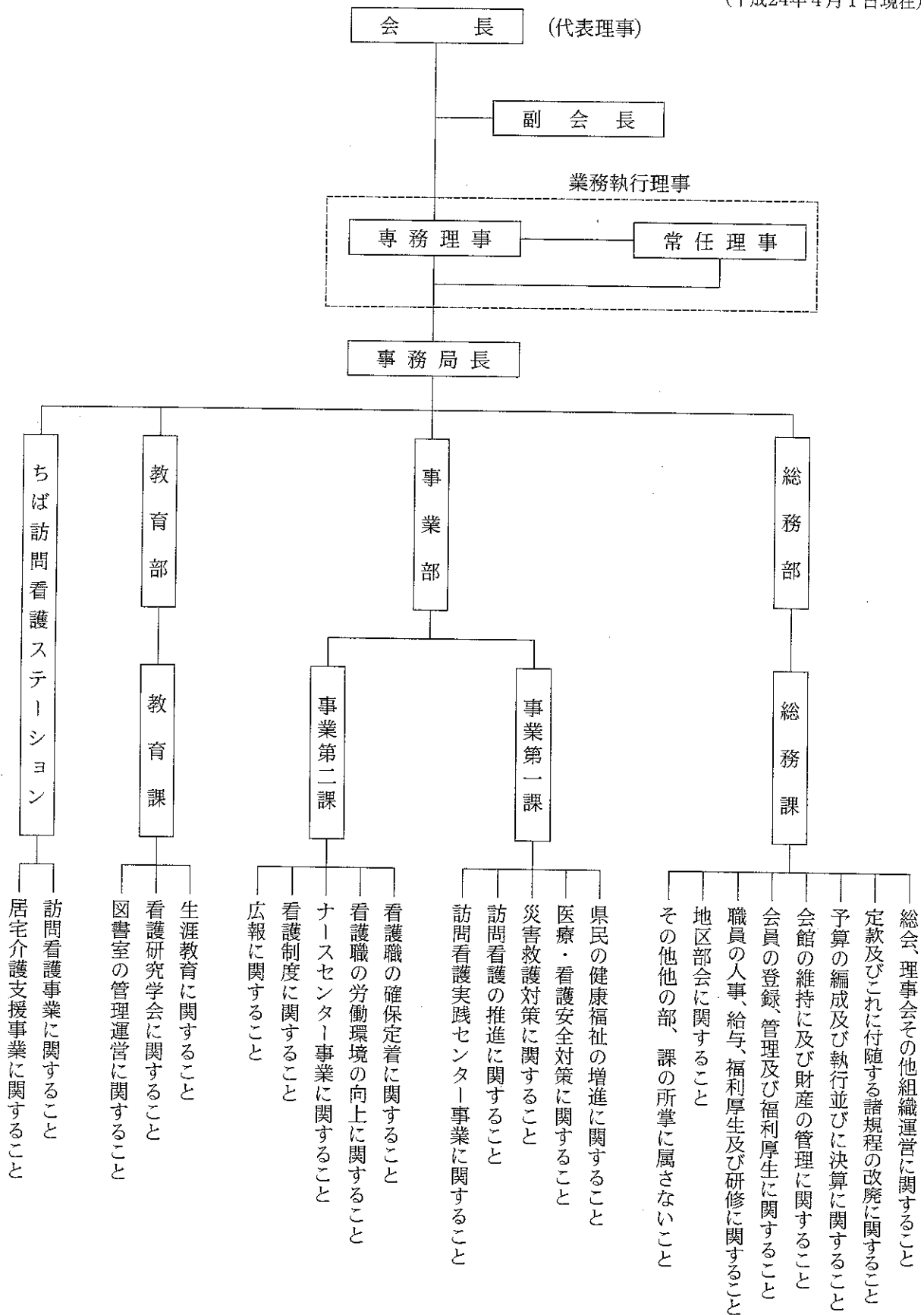
(公社) 千葉県看護協会 組織機構図

(平成24年4月1日現在)



(公社) 千葉県看護協会 組織運営図

(平成24年4月1日現在)



(公社) 千葉県看護協会 業務体制

(平成24年4月1日現在)

- 会 長 松永 敏子
- 専務理事 山木 まさ 総括・法人の組織運営に関すること
(総務、人事、監査、職能委員会、地区部会、日本看護協会・行政機関等との調整、国際交際)
看護制度に関すること、ちば訪問看護ステーションに関すること
- 常任理事 佐瀬けい子 看護師等の人材確保・定着に関すること
訪問看護の推進に関すること
- 常任理事 藤澤 里子 看護の質の向上に関すること
県民の健康・福祉の増進に関すること

総 務 部 事務局長 中嶋 洋一郎 (事・嘱託) (兼) 総務課長事務取扱

総 務 課 係長 羽鳥 実 (事・嘱託) 主任 荒木 俊行 (事) 主任 湯浅 尚吾 (事)
有川 理恵 (事) 二宮 千彰 (事) *伊藤 佑子 (事)

事 業 部 部長 澤田いつ子 (技・嘱託) (兼) 事業第一課長事務取扱

事業第一課 課長事務取扱 澤田いつ子 (兼務) 仲邑三恵子 (事) 小関ちはる (事)
西牧奈津恵 (技) 虻川 良子 (技) (訪問看護実践センター)
保坂 和子 (技) (訪問看護実践センター)

事業第二課 課長 田久保恵津子 (技) 主任 田口 三奈 (事) 川上 和代 (技)
西岡 智恵 (事) *山田みどり (技・嘱託)

教 育 部

教 育 課 課長事務取扱 藤澤 里子 (兼務)
*杉本 龍子 (技・嘱託) 錦織 澄江 (技) 松山千夏 (事)
飛田野由理恵 (事) 齋藤奈津子 (事)

ちば訪問看護ステーション

所長 権平くみ子 (技) 係長 鈴木 薫 (技) 主任 池田 幸 (技)
豊田 智生 (技) 塘 あゆみ (技・嘱託) 田中 智美 (技)
長江未能子 (技) *山野内裕子 (技) *笹木早登子 (技)
* 畑 澄代 (技) *堀井真由美 (技) (兼) 虻川 良子 (技)
(兼) 保坂 和子 (技) 甲斐 敬子 (事・嘱託)

合計 常任役員4名、職員36名 (常勤30名 (嘱託5名) 非常勤6名 (嘱託2名))

*印非常勤

看護者の倫理綱領

2003年 日本看護協会

前文

人々は、人間としての尊厳を維持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通してその最期まで、その人らしく生を全うできるように援助を行うことを目的としている。

看護者は、看護職の免許によって看護を実践する権限を与えられた者であり、その社会的な責務を果たすため、看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保つ権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。

日本看護協会の『看護者の倫理綱領』は、病院、地域、学校、教育・研究機関、行政機関など、あらゆる場で実践を行う看護者を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

条文

1. 看護者は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護者は、国籍、人種・民族、宗教、信条、年齢、性別及び性的指向、社会的地位、経済的状态、ライフスタイル、健康問題の性質にかかわらず、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護者は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護者は、人々の知る権利及び自己決定の権利を尊重し、その権利を擁護する。
5. 看護者は、守秘義務を遵守し、個人情報保護に努めるとともに、これを他者と共有する場合は適切な判断のもとに行う。
6. 看護者は、対象となる人々への看護が阻害されているときや危険にさらされているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護者は、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護者は、常に、個人の責任として継続学習による能力の維持・開発に努める。
9. 看護者は、他の看護者及び保健医療福祉関係者とともに協働して看護を提供する。
10. 看護者は、より質の高い看護を行うために、看護実践、看護管理、看護教育、看護研究の望ましい基準を設定し、実施する。
11. 看護者は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護者は、より質の高い看護を行うために、看護者自身の心身の健康の保持増進に努める。
13. 看護者は、社会の人々の信頼を得るように、個人としての品行を常に高く維持する。
14. 看護者は、人々がよりよい健康を獲得していくために、環境の問題について社会と責任を共有する。
15. 看護者は、専門職組織を通じて、看護の質を高めるための制度の確立に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。